

平成30年度

事業報告書



「マナビイ」
生涯学習マスコットマーク

学び 出合い よろこび

石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

昨年と打って変わって雪の少ない正月からスタートし、寒くなったり暖かくなったりを繰り返しながらも、例年どおり眼に痛いほどの新緑の季節を迎えることができました。毎年のことながら鮮やかな季節の移ろいに瞠目させられる思いがします。

ビジネス評論家楠木新氏は著書『定年後』の中で、定年後の最大の問題は健康・カネ等もさることながら社会とのつながりが希薄化することに伴って生ずる孤独・孤立感であり、誰もが健康で生きがいを持って充実した人生を全うしたいと思っているが現実にはそうになっていない人が大勢いると指摘しています。職業人としては組織の規範・指示に従い、子育て中はそれなりのマニュアルに基づいて行動していれば、たいていのことは時間が解決してくれる面があります。（むろん組織や家庭の中での葛藤、不協和音に我々は悶々とするわけですが・・・。）一線を退いた後には膨大な自由時間がありますが、自己と向き合い充実した時をいかに過ごすかは「人生100年」の超高齢社会の大きな課題であることは改めて申し上げるまでもありません。当センターもそうした県民の方々に寄り添う一機関としてささやかな役割を果たすことができればと思っております。

主要事業である石川県民大学校には、3年続けて1万人を超える方々が入校されました。生涯にわたって学び続けようという受講者の熱い思いが感じられます。今後も不断にテーマを見直し講座の進め方に工夫を凝らして、受講者にとって魅力的な内容になるよう努めてまいりたいと思っております。

また、学んだ成果をもとに講座の講師となる場を提供する「あすなる悠々塾」、地域活性化のための人材育成をめざす「ファシリテーター養成講座」、10～40歳代の比較的若い世代を主なターゲットとする「ファミリー・カレッジ in 本多の森」などは受講者の満足度の高い講座となっています。

さらに「ふるさとモット学び塾」は、ふるさと石川への愛着と誇りを持つために文化や歴史、自然、産業等について学習することを目的にしておりますが、その柱の一つである「ふるさとふれあい現地講座」は、定員の関係もあり毎回抽選漏れが出、お叱りを受けるほどの人気ぶりです。

一方能登校で恒例となっております「能登文化講座」には毎年多数の方々に越しいただいております。また「料理教室」や「サンドブラスト体験教室」も能登校独自の講座として根強い人気があります。

「まなびすとルーム」では、マナビィコーナーにおける県民の方々の作品展示など生涯学習の成果発表、DVD・16ミリフィルム等の貸し出し、さらに生涯学習に関する相談や情報提供を行い県民の生きがいづくりの応援ができるような行政サービスを進めているところです。

この報告書は、平成30年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。ご高覧のうえ、ご助言ご提言いただければ幸いです。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和元年5月

石川県立生涯学習センター
館長 平 聖 一 郎

目 次

I 生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみと流れ	3
(2) 石川県民大学校の入校状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさとふれあい現地講座	12
(3) ふるさと発見出前講座	13
(4) あすなろ悠々塾	15
(5) あすなろ悠々塾講師養成研修	17
(6) 人権講演会	18
(7) 世界理解講座	19
(8) ファミリー・カレッジin本多の森	20
(9) オリンピック・パラリンピック・カレッジin本多の森	21
(10) 兼六ビデオ講座	22
(11) 本多の森シネマアーカイブ	24
(12) 本多の森映画会	25
(13) 夏休み子ども映画会	26
(14) 本多の森キッズシアター	26
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	27
(2) まなびすとルーム	28
(3) 視聴覚ライブラリー	28
(4) 生涯学習センターだより(館報)	29
(5) 県民企画展示マナビィコーナー	30
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	31
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	32
(3) ファシリテーター養成講座	33
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	34
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	35
5 マナビィフェアin本多の森	36
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	37
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	38
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	39
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	40
(5) 視聴覚セミナー	41
(6) 県民映像カレッジ	41
(7) ICT活用講座	42
(8) いしかわビデオ作品コンクール	43
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	44
(10) 自主サークル	44
II 生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) ふるさとふれあい能登校講座	45
(2) 能登文化講座	45
(3) 能登の歴史探訪講座	46
(4) 古文書解説講座	46
(5) 能登陶芸教室	47
(6) あすなろ悠々塾in能登	47
(7) 能登特別映画会	48
(8) ふるさと文化探究講座	48
(9) 輪島塗沈金教室	49
(10) 夏休み子ども科学教室	49
(11) 夏休み子ども特別映画会	50
(12) 夏休み子ども陶芸教室	50
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) フランス料理教室	51
(2) 大人の料理教室	51
(3) サンドブラスト体験教室	52
3 能登分室利用状況	53
III 調査研究レポート	
4年目を終えた「ファミリー・カレッジin本多の森」について	54

I 生涯学習センター

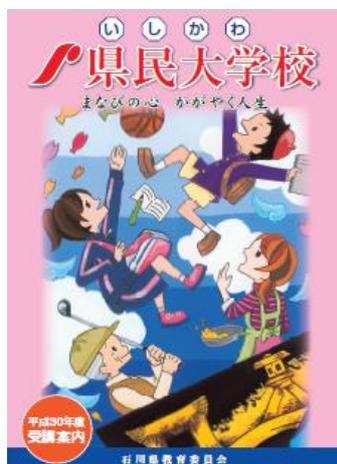
1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみ

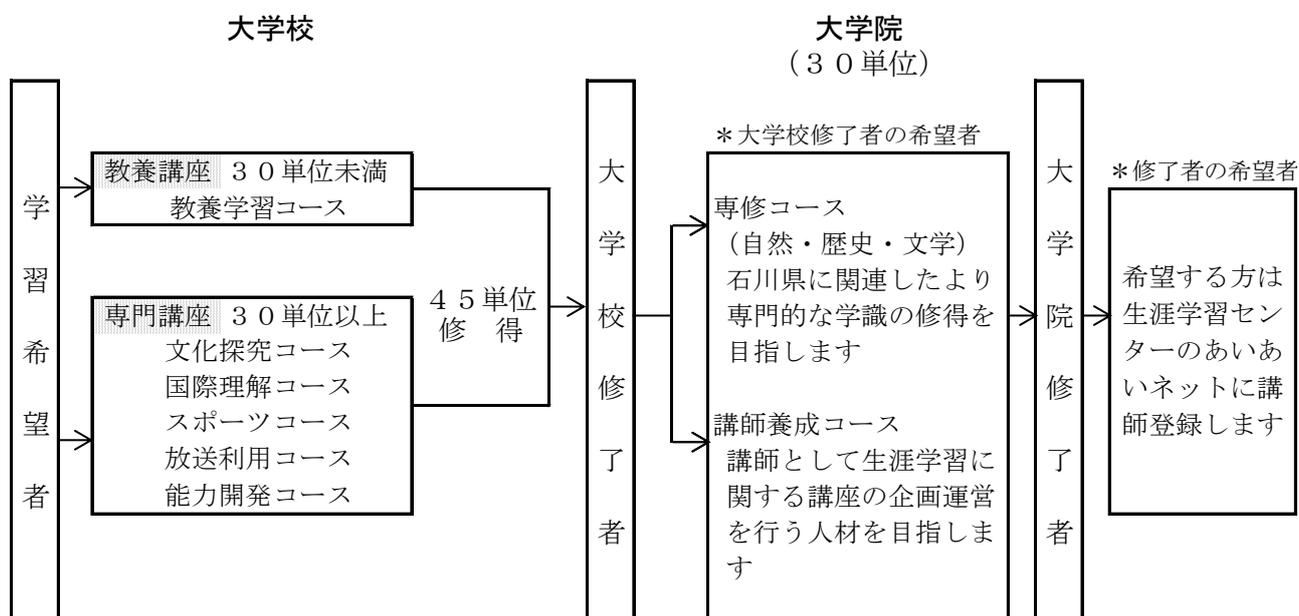
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

○講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 8年	325 (107)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 9年	332 (117)	平成29年	1,178 (32・4)
平成10年	330 (126)	平成30年	1,206 (32・4)
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までの流れ



(2)石川県民大学校の入校状況(平成30年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,170	10,355
専門講座	文化探究	9	284
	国際理解	12	134
	スポーツ・生活	5	0
	産業・情報	0	0
	能力開発	3	157
	放送利用	3	0
	計	32	575
大学院	専修自然・歴史・文学	3	14
	講師養成	1	6
合計		1,206	10,950

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.9%
小松市・能美市・能美郡	3.2%
白山市・野々市市	10.2%
金沢市	59.7%
かほく市・河北郡	4.8%
羽咋市・羽咋郡	1.2%
七尾市・鹿島郡	2.9%
輪島市・鳳珠郡	8.9%
珠洲市	1.9%
不明・県外	6.2%
合計	100

表3 年齢・男女別入校者割合

年齢	男(%)	女(%)	合計(%)
19歳以下	8.0%	10.1%	18.1%
20歳～29歳	0.5%	0.6%	1.2%
30歳～39歳	1.4%	3.4%	4.8%
40歳～49歳	1.9%	6.1%	8.0%
50歳～59歳	1.9%	4.2%	6.1%
60歳～69歳	6.3%	10.4%	16.7%
70歳～79歳	8.8%	12.2%	21.0%
80歳以上	2.8%	2.2%	5.0%
不明	7.8%	11.4%	19.2%
合計	39.5%	60.5%	100%

(3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成29年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 271名

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

期 日

平成30年5月26日(土) 13:30～15:30

日 程

13:30～14:00	修了証書交付式 平成29年度修了生768名のうち97名(大学校85名、大学院12名)の方に、学長の谷本正憲石川県知事から修了証書が交付された。
14:10～15:30	記念講演 「伝統は現代アート？」と題して、十一代 大樋 長左衛門氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川県民大学校・大学院修了証書交付式は、石川県議会議長など来賓12名のご臨席のもと、大学校85名、大学院12名を含む125名の参加で執り行われた。記念講演は、十一代 大樋長左衛門氏を講師に招いて行われた。「楽焼と大樋焼の関係」、「千家との関係」、「大樋先生の国の内外を問わない幅広いご活躍の様子」などを映像を交え楽しくご講話された。受講者から「アートと伝統の意が良く理解できた。」、「大樋先生のご講演がとても素晴らしく、陶芸にはあまり興味がなかった自分が、陶芸の魅力について少し分かることができました。」、「私にとって陶芸は、知らないことばかりでしたが、大樋先生のご講演を聞いて是非大樋美術館にも行ってみようと思いました。」などの感想が寄せられ、受講生に大変好評であった。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成30年5月26日(土)～平成31年1月19日(土)

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

定 員

講師養成コース 15名
専修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月26日(土) 13:30～15:30	記念講演「伝統は現代アート？」 (石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	十一代 大樋 長左衛門	146人
2	6月 8日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「生きものを守ることは子どもを守ること」	石川県立大学客員教授 上田 哲行	13人
3	6月11日(月) 13:30～15:30	専修コース自然 「金の街・金沢で実験で楽しむ宮沢賢治 ーサイエンス・ファンタジーの世界ー」	金沢・金の科学館代表 四ヶ浦 弘	41人
4	6月12日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「現代文学の描く能登 福永武彦の世界」	金沢大学准教授 飯島 洋	14人
5	6月18日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史 「元禄期に於ける幕府の大名監察政策 ー『土芥寇讎記』と前田綱紀ー」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	51人
6	6月19日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 「富山・大聖寺藩主書状からみた加賀本多家」	金沢学院大学准教授 本多 俊彦	39人
7	6月22日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「新しい植物図鑑の配列順序が大きく変わりました!! ー遺伝子をもとにした植物分類学よりー」	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	15人
8	6月25日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「鏡花にみる能登の旅ー海の記憶の物語ー」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	22人
9	6月27日(水) 13:30～15:30	専修コース文学 「室生犀星のモダン」	金沢大学准教授 鈴木 暁世	17人
10	6月29日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「能登立国1300年ー能登の古代史を探るー」	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	47人
11	7月 3日(火) 13:30～15:30	専修コース自然・歴史・文学 「論文作成講座」	金沢学院大学准教授 本多 俊彦	12人
12	7月 4日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	8人
13	7月 5日(木) 13:30～15:30	専修コース自然 石川県立自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 中村 浩二	1人
14	7月 9日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史・文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館司書主査 水本 京子 他	8人

番号	日時	内容(演題)	講師	参加者数
15	7月11日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「シンプルで伝わりやすいプレゼン資料の作り方」	あぼじら代表 伊藤 雅恵	8人
16	7月18日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	8人
17	7月25日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	8人
18	9月19日(水) 13:30～14:30	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
19	9月20日(木) 15:30～16:30	専修コース歴史 試論指導	石川県立図書館史料編さん室専門員 石田 文一	2人
20	9月21日(金) 13:30～14:00	専修コース歴史 試論指導	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	2人
21	9月25日(火) 11:30～12:00	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学教授 本康 宏史	1人
22	9月25日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学准教授 本多 俊彦	3人
23	9月26日(水) 13:30～14:30	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 鈴木 暁世	2人
24	9月28日(金) 13:30～14:30	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
25	10月15日(月) 13:30～14:30	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学教授 本康 宏史	1人
26	10月16日(火) 13:30～14:00	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
27	10月17日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 講座企画書指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	5人
28	10月18日(木) 13:30～14:00	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
29	10月18日(木) 15:30～16:30	専修コース歴史 論文指導	石川県立図書館史料編さん室専門員 石田 文一	1人
30	10月23日(火) 15:30～16:30	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学准教授 本多 俊彦	3人
31	10月25日(木) 14:30～15:30	専修コース歴史 試論指導	金沢学院大学特任教授 小嶋 芳孝	2人
32	10月26日(金) 14:00～15:00	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 鈴木 暁世	2人
33	11月21日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	7人
34	1月19日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「加賀藩十村と藩領社会－寄合をする十村達－」	金沢大学准教授 上田 長生	59人
合 計				554人

※1～10及び34の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文等の指導により、修了生のべ17名の研究成果を「石川の博士論文集」としてまとめることができた。

大学院については、専修コースの継続受講者数(10名)が多い一方で、新規の受講者数(2名)が少ない傾向にあり、大専修生に対し大学院の魅力を伝え、新規受講者数の増加に努めたい。また、一般の方への「開放講座」としている専修コースの基本講座について、引き続き積極的な広報に努め、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演を通して県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成31年1月19日(土) 13:30~15:40

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

対象・参加者

平成30年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 59名

日 程

13:30~14:30	論文発表 ①「桜のコミュニケーションについての理論的考察Ⅳ」 専修コース自然代表 刈本 博保 ②「日露戦争『仁川沖海戦』での瓜生外吉の活躍と人物像」 専修コース歴史代表 谷口 和男 ③「西田幾多郎と鈴木大拙と夏目漱石(2) ～海外体験と西洋哲学で古典的名著を生む～」 専修コース文学代表 本吉 哲夫 ④「はじめての『古文書』講座 ～『村御印』から加賀百万石を支えた人たちの思いを感じよう～」 講師養成コース代表 鳥居 勝治
14:40~15:40	記念講演 「加賀藩十村と藩領社会ー寄合をする十村達ー」 金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系 准教授 上田 長生

事業の評価(成果・課題)

今年度の大学院受講者15名から選ばれた代表4名の発表は、よくまとまっており内容・話し方・資料提示など一般の受講生からも好評であった。また、大学院の全受講者の論文概要や今年度の大学院カリキュラムを昨年に引き続き配付し、大学院受講生やそれ以外の一般受講者に対しても大学院講座内容を周知し、受講者増につながるよう広報に努めた。

記念講演では、金沢大学の上田長生氏が加賀藩の十村の制度・仕組みなどについて、資料を交えながら分かり易く解説され、アンケート結果からも「良かった」という評価が多数あり、加賀藩の歴史造詣を深める講演会となった。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
大 学 校	教 養 講 座 計	1,019	1,050	1,099	1,154	1,178	1,142	1,170
	文化探究コース	8	7	6	7	7	9	9
	国際理解コース	12	12	12	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	4	4	4	4	5	5	5
	産業・情報コース	1	0	0	0	0	0	0
	能力開発コース	3	4	4	2	3	3	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	31	30	29	28	30	32	32
	大 学 校 計	1,050	1,080	1,128	1,182	1,208	1,174	1,202
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,054	1,084	1,132	1,186	1,212	1,178	1,206

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	5	3	2	2	2	2	3
	講 座 数	39	60	35	43	40	35	44
知 事 部 局 等	機 関 数	30	33	30	22	21	23	24
	講 座 数	187	191	206	181	182	220	256
県 立 学 校	機 関 数	52	34	22	12	10	7	6
	講 座 数	52	35	26	13	11	8	6
県 教 委	機 関 数	12	12	12	12	12	11	11
	講 座 数	186	206	212	215	223	226	237
県 機 関 計	機 関 数	94	79	64	46	43	41	41
	講 座 数	425	432	444	409	416	454	499
市 町 村 教 委	機 関 数	50	58	65	41	41	32	31
	講 座 数	202	230	274	151	165	116	103
各 種 法 人	機 関 数	41	41	44	53	53	51	49
	講 座 数	260	246	260	476	478	466	453
各 種 団 体	機 関 数	19	20	18	17	17	14	14
	講 座 数	128	116	119	107	113	107	107
合 計	機 関 数	209	201	193	159	156	140	138
	講 座 数	1,054	1,084	1,132	1,186	1,212	1,178	1,206

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
大 学 校	○教養講座 計	7,279	6,859	8,700	8,774	9,893	10,341	10,355	129,542
	文化探究コース	347	209	111	239	230	266	284	13,187
	国際理解コース	172	179	133	146	135	136	134	9,154
	スポーツ・生活コース	0	33	9	0	20	15	0	8,167
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	78	172	202	146	205	188	157	7,847
	放送利用コース	2	1	7	14	21	0	0	1,492
	○専門講座 計	599	594	462	545	611	605	575	44,329
大 学 院	専修コース	77	57	37	44	32	31	14	1,727
	講師養成コース	10	14	6	4	9	7	6	401
	○石川の博士養成講座 計	87	71	43	48	41	38	20	2,128
合 計		7,965	7,524	9,205	9,367	10,545	10,984	10,950	175,999

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(平成31年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
大 学 校	○教養講座 計	260	197	308	232	261	186	293	3,981
	文化探究コース	190	264	111	187	184	266	239	5,230
	国際理解コース	90	90	71	88	83	113	83	2,320
	スポーツ・生活コース	0	33	9	0	20	15	0	1,816
	産業・情報コース	2	0	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	26	0	35	128	140	171	174	4,244
	放送利用コース	2	1	0	0	2	0	0	47
	○専門講座 計 (コース重複)	310 (0)	388 (0)	226 (0)	403 (1)	429 (0)	565 (0)	496 (0)	13,706 (593)
大 学 院	専修コース	25	30	23	19	21	12	12	546
	講師養成コース	2	5	3	2	6	5	5	177
	○石川の博士養成講座 計	27	35	26	21	27	17	17	723
合 計		597	620	560	656	717	768	806	18,410

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(平成30年度修了生の内訳)

(単位：人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	男 性(人)	1	1	3	6	11	67	130	39	48	306
	女 性(人)	1	0	3	13	39	120	156	26	125	483
大 学 院	男 性(人)	0	0	0	2	0	6	4	2	0	14
	女 性(人)	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3
合 計	人 数(人)	2	1	6	21	51	193	291	68	173	806
	割 合(%)	0.2	0.1	0.7	2.6	6.3	23.9	36.1	8.4	21.5	100

2 講座事業

(1) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座を実施する。

対象・定員

一般 130名

会場

石川県立生涯学習センター第1会議室

日程

番号	日時	演題	講師	参加人数
1	7月28日(土) 13:30～15:00	伝統的日本建築を守る ～金沢城の修復～	(株)巽工匠 代表取締役 吉井 清	185人
2	8月4日(土) 13:30～15:00	工芸の豊かさ ～美しいということ～	漆工・金沢漆芸会会長 西村 松逸	141人
3	8月25日(土) 13:30～15:00	北前船からの贈り物 ～ふぐの卵巣の糠漬け～	(株)あら与 代表取締役 荒木 敏明	152人
4	9月8日(土) 13:30～15:00	太鼓のおいたち	(一財)浅野太鼓文化研究所 理事長 浅野 昭利	122人
5	9月22日(土) 13:30～15:00	鉄の便利屋 ～想いを形にして、困ったを良かったへ～	ふくべ鍛冶 4代目 干場 健太郎	112人
6	9月29日(土) 13:30～15:00	金澤町家と生活文化	加能民俗の会会長 小林 忠雄	108人
7	10月19日(金) 13:30～15:00	末守(末森)合戦とその周辺	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫	158人
8	10月27日(土) 13:30～15:00	醤油で伝えるふるさとの食文化	直源醤油(株) 代表取締役社長 直江 潤一郎	127人
9	11月2日(金) 13:30～15:00	加賀守護富樫氏の成立と展開	金沢学院大学 名誉教授 東四柳 史明	175人
10	11月25日(日) 13:30～15:00	加賀温泉郷の情報発信	よろづや観光(株) 代表取締役社長 萬谷 浩幸	94人
合計				1,374人

事業の評価(成果・課題)

どの講座も150名以上の申込みをいただき、多くの県民が本講座に高い関心を持っていることがうかがえる。当日の受講者数にばらつきはあるものの、定員を超える参加があった講座が5回、100名以上の参加があった講座が9回となった。定員に対する受講率は、106%（前年度95%）受講者数は、1,374名（前年度1,240名）と増加した。昨年度に比べて、広報の範囲を広げた効果があったと考えられる。一方で、申込数に対する受講率が60%程度にとどまる講座があった。来年度は年度当初の一括申込ではなく、申込み期間を数回に区切ることで、申込数に対する受講率を上げ、効率の良い講座運営に努めていきたい。

開催日に関しては、土日開催を8回とした。アンケート等では、「土日開催だと参加しやすい」との声が多く寄せられた。今後も土日開催を中心として、曜日配分のバランスを工夫していく必要がある。

講座の内容については、満足度（満足・やや満足の合計：以下同様）98.8%、興味・関心の高まり96.4%、知識の深まり96.4%、愛着・誇りの深まり94.0%、伝えたい気持ち・おもてなしの心の高まり89.2%と好評で、良い成果を得ることができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(2) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした講座を実施する。景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する6回の講座を実施する。

対象・定員

第1・3・4・5回：一般40名、第2回A・B、第6回：一般30名

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	5月31日(木) 8:00～16:30	前田家ゆかりの能登寺社と人を訪ねて	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	39 人
2	6月14日(木) A) 9:00～12:00 B) 13:30～16:30	豊かな金沢建築を巡る ～江戸、明治から平成に至るまでの 名建築を味わう～	金沢工業大学教授 水野 一郎	56 人
3	7月 5日(木) 9:00～16:00	大伴家持の能登巡行をたどって	金沢学院大学特任教授 柳澤 良一	40 人
4	9月20日(木) 8:00～16:30	いのちを育む水の旅と石の旅 ～自然と文化のつながりを探す～	白山手取川 ジオパーク推進協議会専門員 日比野 剛	38 人
5	10月11日(木) 8:00～16:30	こまつ石文化の旅 ～時を超えてつながる石物語～	小松市埋蔵文化財センター所長 樫田 誠	37 人
6	10月31日(水) 9:30～12:30	金沢の文豪 室生犀星ゆかりの地を訪ねて	石川県観光スペシャルガイド 山根 公	27 人
合 計				237 人

事業の評価(成果・課題)

バス4回(加賀2・能登2、徒歩2回(金沢)の計6回の講座は、雨天で開催する講座もあったが、事故なく実施できた。今年度も引き続きバス利用講座では、金沢駅発着の他に途中乗降場所を設けた。その結果、全6講座で能登から10名、加賀から26名の参加があった。今後も、金沢市以外に在住する方の参加を増やすための工夫に努めたい。

毎年、多数の応募があるため、今年度よりバス利用講座の定員を35名から40名に増やした。応募数は、604通(前年度620通)となり、高い関心がうかがえた。定員を増員したものの、当選確率は6回の平均が41.4%(前年度36.8%)となり、「実施回数・定員を増やしてほしい。」という要望も多かった。特に、人気の講座に関しては、次年度以降同テーマで再度開講するなど工夫していきたい。

講座の内容について、アンケートでは「興味を持って、参考になる内容だった」の項目で「とても良かった」と「良かった」の割合が99.6%だった。「普段目にしていても内容的に奥深くはわかっていなかった。」、「個人やツアーでは行かない・行けない場所の説明を受け、理解が深まった。」、「五感で感じる講座は、どれもわかりやすく、印象に残る。」といった感想も多く、現地講座ならではの「直接、見て、聞いて、触れる」という、より深い学びの場を提供することができ、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができた。

(3) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校：児童・生徒 ※小学校は、原則4年生以上

公 民 館：一般

日 程

① 小・中学校(12校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月9日(金) 9:00～11:00	穴水町立 穴水小学校(3)	親子でボラ茶漬け ～ボラ漁を楽しもう～	穴水町新崎地区里海里山推進協議 会会長 岩田 正樹氏	60 人
2	6月20日(水) 14:00～14:45	羽咋市立 西北台小学校(5)	イカリモンハンミョウの生態	NPO法人日中朱鷺保護協会 事務局 西屋馨氏 架谷成美氏 野上達也氏	18 人
3	9月7日(金) 13:50～14:35	金沢市立 夕日寺小学校 (5)	石川の食文化 自慢の金沢料 理 夕日寺っ子から発信しよう	JA金沢市 支店長代理 佐野 裕紀香氏	53 人
4	9月13日(木) 10:40～11:25	金沢市立 浅野川小学校 (6)	金沢の食文化を調べ知る ～加野野菜～	料理研究家 北尾 千鶴子氏	58 人
5	9月27日(木) 13:45～14:30	川北町立 川北小学校(6)	加賀百万石と前田家	観光ボランティアガイド まいどさん 中田 康子氏	47 人
6	9月27日(水) 11:00～12:30	小松市立 松東中学校(2)	今後の伝統文化のあり方は	尾小屋鉦山資料館長 四ツ目 圭吾氏	32 人
7	10月3日(水) 10:45～11:45	能美市立 宮竹小学校(5)	砂防の大切さ	白山しらみね自然学校代表 山口 幸一氏	30 人
8	10月17日(水) 13:40～14:25	能美市立 宮竹小学校(5)	県産ブランド化への取り組み	石川県職員 藪 哲男氏、竹上 仁志氏	28 人
9	12月7日(金) 8:40～10:20	金沢市立 馬場小学校(5- 6)	石川の食文化(郷土料理)	北陸学院短期大学部 教授 新澤 祥恵氏	41 人
10	1月23日(金) 10:30～11:30	能美市立 宮竹小学校(4)	九谷焼 伝統を引き継いで	九谷焼伝統工芸士 打田 幸男氏	23 人
11	1月24日(木) 10:35～11:20	金沢市立 四万石小学校 (4)	石川の陶芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 打田 幸男氏	92 人
12	1月31日(木) 13:55～14:40	金沢市立 米丸小学校(4)	石川の伝統工芸 九谷焼 ～これまでの歩みとこれから～	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子氏	121 人
合計					603 人

② 公民館(8館)

番号	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	6月29日(月) 10:00～11:15	小松市 林町会館	歴史 加賀百万石の成り立ち	観光ボランティア ガイド 中田 廉子氏	43 人
2	7月 7日(土) 10:00～12:00	金沢市 菊川町公民館	加賀野菜を使った料理を親 子で学ぶ	料理研究家 北尾 千鶴子氏	12 人
3	7月26日(木) 14:15～15:30	野々市市 野々市公民館	手取川の洪水と白山の砂防 について	白山しらみね自然学校 代表 山口 幸一氏	25 人
4	8月23日(木) 19:30～21:00	金沢市 浅野川公民館	夏の夜空を学ぼう	星稜高等学校 教諭 涌島 英揮氏	68 人
5	9月12日(水) 10:00～11:30	小松市 安宅公民館	歴史文化講座「北前船物 流基地・安宅」	民生委員 児童委員 南 秀実氏	17 人
6	1月24日(木) 19:30～21:00	小松市 公民館連合会	北前船の歴史と小松の関わり	小松市職員 川畑 謙二氏	22 人
7	2月15日(金) 13:30～15:00	加賀市 塩屋公民館	北前船のふるさと・塩屋の歴史	江沼地方史研究会 伊林永幸氏	35 人
8	2月20日(水) 14:00～15:30	輪島市 鳳至公民館	歴史講座 江戸時代の輪島	加能地域史研究会 左古 隆氏	44 人
合 計					266 人

事業の評価(成果・課題)

ふるさと石川について、各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣することができた。各地域に密着したテーマが多く取り上げられ、地域の子どもを教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができたと考えられる。

6年目となる本講座では、継続してお願いしている講師陣のご理解もあり、対象学年に適した講座内容を展開し、「学校・公民館」と「地域の先生」との結びつきを深める役割も担う事ができた。「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」ことを通して、体験型学習の場を提供して下さった講師が多かった。仕事への情熱、生き様等、講師の存在そのものに直接ふれることができるよい機会ともなった。

また、屋外での学習や、調理実習等の活動を伴う講座で3校が講座を利用した。また、学校については、従来の各市町教育委員会を通しての申込みを改め、本年度から直接センターに申し込む形に変更し、作業の軽減化ができた。

講座アンケートでは、「とても良かった」と「良かった」の合計が100%と高い評価を受けており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えている。

出前講座の継続実施は良いことであるが、実施施設の固定化や複数回の実施が見られ課題でもある。新規実施施設の開拓、効果的な広報の模索を続けたい。

(4)あすなろ悠々塾

趣 旨

一般県民の方々が生涯学習活動などを通して学んだ研究成果について、ボランティア講師として企画・発表できる機会を提供し、その知見が広く社会に活かされることを目指している。

参加対象・定員

一般 10名～50名

会 場

石川県立生涯学習センターまなびすとルーム

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月11日(金) 14:00～15:30	生活講座 消費者が見た石川の昭和	滝内 敏之	16人
2	5月15日(火) 14:00～15:30	文学講座 文学者が愛したまち金沢① (鏡花・秋声とその縁の文学者)	中田 廉子	47人
3	5月18日(金) 14:00～15:30	文学講座 文学者が愛したまち金沢② (犀星とその縁の文学者／女流文学者)	中田 廉子	41人
4	5月22日(火) 14:00～15:30	健康講座 傘寿さんさん(3)	西本 宗之助	14人
5	5月29日(火) 14:00～16:00	歴史講座 高山右近の力①(加賀藩に至るまで)	堀川 惇夫	50人
6	5月30日(水) 14:00～16:00	歴史講座 高山右近の力②(加賀藩在住26年間)	堀川 惇夫	36人
7	6月6日(水) 14:00～15:30	自然講座 ランの不思議	日尾 章	16人
8	6月12日(火) 14:00～15:30	心理講座 自分をよりよく知って、人と上手く付き合おう!	塚本 茂樹	33人
9	6月21日(木) 14:00～15:30	心理講座 [好きな言葉]から様々な生き方を話し合う	山本 紀子	15人
10	6月23日(土) 14:30～16:00	生活講座 ワイン入門講座	木村 真樹	17人
11	6月30日(土) 14:00～15:30	人生講座 松下理念と稲盛フィロソフィーに生き方を学ぶ	植茶 泰男	36人
12	7月10日(火) 14:00～15:30	文化講座 健康オカリナレッスン体験	上村 彰	中止
13	7月17日(火) 14:00～15:30	健康講座 健康寿命を延ばそう ～人間の生命力と健康の法則～	木下 幸子	48人
14	7月20日(金) 14:00～15:30	文化講座 九谷焼絵付体験(6寸皿)	高畠 敏彦	4人
15	7月24日(火) 14:00～15:30	健康講座 体健やかに 心楽しく ～貯筋運動あれこれ～	畠 紀子	14人
16	7月27日(金) 14:00～15:30	歴史講座 ヘレン・ケラー女史の生涯と金沢来訪(2回)	北村 徹雄	20人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
17	8月 3日(金) 14:00～15:30	産業講座 開港50年目のレガシー・もっと知りたい金沢港	末村 春男	20人
18	8月 7日(火) 14:00～15:30	歴史講座 「手取の玉石」とは ～地名「石川」の謎に迫る～	後藤 朗	33人
19	8月19日(土) 14:00～15:30	生活講座 住まいの片付けとコーディネート術	小坂 宗義	22人
20	8月23日(木) 14:00～15:30	健康講座 傘寿さんさん(4)	西本 宗之助	14人
21	8月28日(火) 14:00～15:30	産業講座 地域活性化戦略と民の役割	西盛 祐吉郎	34人
22	9月 1日(土) 14:00～15:30	歴史講座 加賀藩初期の一向宗への見事な統治方法	谷口 和男	39人
23	9月 4日(火) 台風により順延 →10月29日(月) 15:00～16:30	自然講座 環境認知度(テーマ①-2:地球温暖化と気温差)	竹下 知子	15人
24	9月10日(月) 14:00～15:30	健康講座 生き生きシニアの心の健康	岸 弘市	18人
25	9月15日(土) 14:00～15:30	生活講座 会議は楽しくやるもんだ!	山崎 裕司	中止
26	9月18日(火) 14:00～15:30	歴史講座 加賀藩の仏教思想の教養「仁政」の職制歴史	北川 文男	39人
27	9月27日(木) 14:00～15:30	生活講座 色彩とコミュニケーションでいきいきと	渋谷 夏代	12人
28	10月 2日(火) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活?保護活動から分かること	西屋 馨	14人
29	10月 6日(土) 14:00～15:30	生活講座 文人好み煎茶道を体験する ～茶道を通じ日本文化を学ぶ～	山岸 澄江	10人
30	10月16日(火) 14:00～15:30	生活講座 社会制度を活用した‘人生の安心設計’	道下 俊一	33人
31	10月23日(火) 14:00～15:30	歴史講座 平安時代の「北陸道」「加賀国府」「加賀国分寺」 について	後藤 朗	42人
32	10月30日(火) 14:00～15:30	自然講座 日本海の食用エビ・カニ類	本尾 洋	14人
合 計				766人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着し、今年度は28名の講師による32講座を開講予定であったが、2講座が中止となり、30講座が実施された。

参加人数は延べ766人と昨年度の794人(29講座)をやや下回ったが、歴史関係講座が3講座減少したのが要因のひとつと推測される。

新規講師が7名加わり、より多くの方に講座の機会を提供できたが、長く講師をされながらも、アンケートの評価が改善されない方への指導やアドバイスは、不十分であった。

新たに講師となるべき人材を確保しながら、全体的に講師としてのスキルを上げていくためのサポートが必要である。

(5) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を活かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者 3 名、修了者 3 名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	履修	参加者
1	7月4日(水) 13:00～15:30	開講式 プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	3 人
2	7月11日(水) 13:30～15:30	シンプルで伝わりやすいプレゼン 資料の作り方	. あぼじら 代表 伊藤 雅恵		3 人
3	7月18日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		3 人
4	7月25日(水) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝		3 人
5	平成30年度「あすなる悠々塾」聴講 ※ 下記の「あすなる悠々塾」講座⑯～㉓の中から1つ聴講し、評価書を提出			選択	3 人
	7月27日(金)	あすなる悠々塾⑯	ヘレン・ケラー女史の生涯と金沢来訪(2回)		
	8月3日(金)	〃	⑰ 開港50年目のレガシー・もっと知りたい金沢港		
	8月7日(火)	〃	⑱ 「手取の玉石」とは ～地名「石川」の謎に迫る～		
	8月19日(日)	〃	⑲ 住まいの片付けとコーディネート術		
	8月23日(木)	〃	⑳ 傘寿さんさん(4)		
	8月28日(火)	〃	㉑ 地域活性化戦略と民の役割		
	9月1日(土)	〃	㉒ 加賀藩初期の一向宗への見事な統治方法		
	9月4日(火)	〃	㉓ 環境認知度(テーマ①-2:地球温暖化と気温差)		
	9月10日(月)	〃	㉔ 生き生きシニアの心の健康		
	9月15日(土)	〃	㉕ 会議は楽しくやるもんだ!		
	9月18日(火)	〃	㉖ 加賀藩の仏教思想の教養「仁政」の職制歴史		
9月27日(木)	〃	㉗ 色彩とコミュニケーションでいきいきと			
6	11月21日(水)	企画書発表会		必修	3 人

事業の評価(成果・課題)

今年度の修了生は3名で昨年度と同数であった。修了生に研修を知ったきっかけを確認したところ、全員、図書館に配付したチラシであったため、学習意欲の高い方が多く集う図書館には、来年度以降、配布部数を増やすようにしたい。さらにポスターの掲示依頼をするなど、より多くの方の目に止まるよう広報を工夫し、応募者を増加させたい。

(6) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員基礎研修受講者 定員 100名

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月26日(火) 13:00~14:30	人権講演会 演 題 「夢と絆」	新潟産業大学 経済学部 准教授 蓮池 薫	144人

(注) 参加人数内訳：一般111人、公民館職員基礎研修24人、学校関係者9人

事業の評価(成果・課題)

講演会では、北朝鮮によって拉致された御自身の実体験をもとに、人権の話にも触れながらご講演いただいた。拉致当時の北朝鮮の様子や他の拉致被害者の様子などを緊張感迫る生々しいお話しを目の当たりにして、今の平和な日本のありがたさを痛感した。来年度は、未来を担う子どもたちの人権と健全育成をテーマとして、大人が果たすべき責任について講演を予定している。今年度同様一般の方々の参加人数を増やすべく、積極的にかつ広域にわたって広報を行いたい。

(7)世界理解講座

趣 旨

中央で活躍する著名な講師を招いた「世界理解講座特別講演会」や日本人学校経験者による「世界理解講座～世界そのまんま～」を実施し、県民が世界地理を学ぶ機会を提供する。

対象・定員

一般

日 程

日 時	内 容(演 題)	定員	会場	講 師	参加人数
6月24日(日) 14:00～15:30	特別講演会 「世界に広がる華人社会とチャイナタウン」	50名	第3会議室	山下 清海 立正大学 地球環境科学部 地理学科 教授	39 人
10月11日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「チェコビールはいかが？」	30名	まなびすとルーム	野村 泰裕 チェコ 元プラハ日本人学校・教諭	31 人
10月17日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「ラテンの楽しい音楽～ヴェネズエラを中心に～」	30名	まなびすとルーム	宮永 久美子 ヴェネズエラ 元カラカス日本人学校・教諭	30 人
10月21日(日) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「オーストラリアって、どんな国？」	30名	まなびすとルーム	松浦 直裕 オーストラリア 元シドニー日本人学校・教諭	22 人
10月24日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま④ 「私を助けてくれたインド」	30名	まなびすとルーム	澤田 岩男 インド 元ニューデリー日本人学校・校長	43 人
11月7日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま⑤ 「ドイツ人にとっての戦後」	30名	まなびすとルーム	福久 俊彦 ドイツ 元デュッセルドルフ日本人学校・教諭	41 人
				計	206 人

事業の評価(成果・課題)

「世界理解講座」は、「特別講演会」、「世界そのまんま」で構成されている。「特別講演会」では、世界のチャイナタウン研究を行っている立正大学・教授の山下清海氏生をお招きして実施した。「中国人のたくましさを具体例を沢山挙げていただき、一層実感いたしました。」などの感想が寄せられ、好評だった。「世界そのまんま」は、昨年度の3講座から5講座に増やし実施した。チェコでは、「歴史と文化の豊かな国だと思いました。」、インドでは、「外国での病気は大変なことがよく分かりました。」、オーストラリアでは、「知らないことが沢山出てきたので色々な方向からオーストラリアを見ることができたと思います。」などの感想が寄せられた。来年度は、一部国を変え実施したい。

(8)ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、まなびすとルーム

日 程

	日 時	対象・定員	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	4月28日(土) 13:30~15:00	一般 100人	「名探偵コナン(特別編) 推理マンガの描き方」	窪田 一裕 氏 (漫画家)	185 人
2	8月5日(日) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「まゆおねえさんと一緒に踊ろう！」	いとう まゆ 氏 (NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」4 代目ダンスのおねえさん)	58 組 152 人
3	8月17日(金) 13:30~15:00	小学生と その保護者 30組	ブラジル:「ブラジルの自然」 ロシア:「ロシアだけにあるもの」 韓 国:「韓国の料理」	石川県国際交流員 ブラジル:サンタナ ルーカス 氏 ロシア:アンドリューヒナ アンナ 氏 韓 国:姜 敏貞(カンミンジョン) 氏 ※まなびすとルーム	13 組 34 人
4	11月3日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で踊れば金メダル! 金沢の 「金」は金メダル!!」	ラッキィ池田 氏 (振付師)	69 組 186 人
5	2月2日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「Let's sing and dance with Eric! ~エリックと歌って踊ろう!~」	エリック・ジェイコブセン 氏 (ミュージシャン)	83 組 212 人
合 計					769 人

事業の評価(成果・課題)

今年も年5回実施した。今年、小学生とその保護者を対象としたワークショップ型講演会を4回、若年層を対象とした講演会を1回実施した。ワークショップ型講演会では、いとうまゆ氏、ラッキィ池田氏を招いたが大変好評であった。県国際交流員を招いた講座では、申し込みが少なく、広報の方法、日程に改善の余地があった。若年層向け講演会では、「名探偵コナン特別編」の作者の窪田一裕氏を招ねき、好評であった。来年度も引き続き、魅力ある講師を招きたい。

(9) オリンピック・パラリンピック・カレッジ in 本多の森

趣 旨

幅広い年齢層を対象にオリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートを講師とする講演会や写真展を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。

①講演会

対 象

一般 200名

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

日 程

日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
12月22日(土) 13:30～15:00	「継続は力なり」	北京オリンピック銀メダリスト (公社)日本フェンシング協会会長 太田 雄貴	209人

②オリンピック・パラリンピック写真展

対 象

一般県民

会 場

県立生涯学習センター

日 程

日 時	内 容(演 題)	参加人数
12月1日(土)～ 12月25日(火) 9:00～18:00	2016リオオリンピック（レスリング、柔道、水泳、フェンシングなど）、2014ソチパラリンピック（車いすバスケット、車いすテニスなど）の写真を展示	248人

事業の評価(成果・課題)

今年度新たに実施した事業で、講演会は、オリンピックの魅力伝えるため、太田氏と関連がある石川県フェンシング協会と県内高校のフェンシング部との連携を図り、新聞、テレビなどの広報にも努めた結果、定員を超える参加者数となった。参加者のアンケートでは「大変素晴らしかった」「フェンシングを観にいきたい」など大変好評であった。また、写真展では石川県出身の川井選手、松本選手、小堀選手が活躍する写真をはじめ、オリンピック・パラリンピックでの躍動感あふれる選手の写真を展示し、多くの来場者にオリンピック・パラリンピックの魅力伝えることができた。

(10) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数	
1	5月30日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとをつなぐ」 おもてなしのココロ ～加賀温泉郷～	アジア巨大遺跡 密林に消えた謎の大都市 ～カンボジア アンコールワット遺跡群～	26 人	
2	6月13日(水) 14:00～16:00	〃 香り高き文化 ～金沢の芸能～	アジア巨大遺跡 黄金の仏塔 祈りの都 ～ミャンマー バガン遺跡～	BUNGO 日本文学シネマ 黄金風景 ディレクターズカット版	30 人
3	6月27日(水) 14:00～16:00	〃 きらめく五彩 ～九谷焼とウルトラアート～	〃 地下に眠る皇帝の野望 ～中国 始皇帝陵と兵馬 備～	〃 檸檬 ディレクターズカット版	27 人
4	7月11日(水) 14:00～16:00	〃 よみがえる伝統 ～七尾・一本杉通り～	〃 縄文 奇跡の大集落 ～1万年持続の秘密～	〃 高瀬舟 ディレクターズカット版	29 人
5	7月25日(水) 14:00～16:00	〃 大野醤油と麴のチカラ ～発酵食今昔～	BUNGO 日本文学シネマ 魔術 / 富美子の足 / グッド・バイ ディレクターズカット版		33 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数	
1	8月8日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとをつなぐ」 かがやく石川育ち ～夏のめぐみ～	驚異の小宇宙 人体Ⅲ ／遺伝子 生命の暗号を解読せよ ～ヒトの設計図～	日本の食文化 日本料理ともてなしの心 ～湯木貞一の世界～	23 人
2	8月29日(水) 14:00～16:00	〃 生き物たちのゆりかご ～能登の里海～	〃 つきとめよガン発生の謎 ～病気の設計図～	〃 懐石、しつらう ～食卓と日本人～	30 人
3	9月19日(水) 14:00～16:00	〃 石川を結ぶ ～おもてなしの道～	〃 日本人のルーツを探れ ～人類の設計図～	〃 おばんざい歳時記 ～庶民の味覚と四季～	24 人
4	10月3日(水) 14:00～16:00	〃 科学から学ぶ ～モノづくりのススメ～	〃 命を刻む時計の秘密 ～老化と死の設計図～	〃 食は江戸 ～江戸前の料理と外食～	26 人
5	10月17日(水) 14:00～16:00	〃 自然と生きる ～能登の里山～	〃 秘められたパワーを発揮 せよ ～精神の設計図～	〃 舶来の日本料理 ～食文化の翻訳術～	23 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数
1	11月 7日(水) 14:00～16:10	いしかわ大百科 「ふるさとをつなぐ」 美を味わう ～加賀料理～	巨大災害 地球大変動の衝撃 第1集 異常気象 “暴走”する大気と海の大循環	19 人
2	11月21日(水) 14:00～16:10	” かがやく石川育ち ～冬のめぐみ～	巨大災害 地球大変動 の衝撃 第2集 スーパー台風 “海の異変の最悪シナリオ”	26 人
3	12月 5日(水) 14:00～16:10	” 雪だるまの里 ～暮らしと 町並み・重伝建・白峰～	” 第3集 巨大地震 見えてきた驚異のメカニズム	21 人
4	12月19日(水) 14:00～16:10	” 歴史へのいざない ～歴博・金沢城～	” 第4集 火山大噴火 迫りくる地球規模の異変	26 人
5	1月16日(水) 14:00～16:10	「いしかわ再発見 ・かがやく人々」 クール・カナザワ ～外国人が見た城下町～	” 第5集 日本に迫る脅威 激化する豪雨	22 人
1期から3期までの合計				385 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も3期に分け、それぞれテーマを変えて開講した。

県民大学校放送利用講座として放映された「いしかわ大百科」から「ふるさとをつなぐ」「いしかわ再発見・かがやく人々」シリーズを上映した。受講者からは、ふるさと石川の魅力が深堀りされ、再発見できたと好評であった。

また、1期では「アジア巨大遺跡」及び「BUNGO 日本文学シネマ」を上映した。巨大遺跡にまつわるアジアの歴史や、わが国の文豪の代表作について、わかりやすく学ぶことができたという好評であった。

2期では「驚異の小宇宙 人体Ⅲ/遺伝子」及び「日本の食文化」を上映した。遺伝の神秘や、わが国の食文化について詳しく知ることができたと好評であった。

3期では「巨大災害 地球大変動の衝撃」及び「シリーズ北陸の工芸作家 石川の匠たち」を上映した。地球温暖化が引き起こす災害や、郷土の工芸作家について理解が深まったと好評であった。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質の映像教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した学習機会の提供は重要であるとする。

(11) 本多の森シネマアーカイブ

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するVHSビデオ等の貴重な映像教材を活用し、過去の自然、文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演題)	参加人数
1	8月20日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 義士武勇編 激突 武田信玄と上杉謙信 ～川中島の戦い、両雄決戦の時～ ②学問と情熱 第1巻 南方熊楠 萃点は見えたか……	25 人
2	9月25日(火) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 戦国編 肉を切らせて骨を断つ ～織田信長 捨て身の復讐戦～ ②学問と情熱 第2巻 岡倉天心 虚空は光にあふれ	21 人
3	11月2日(金) 14:00～16:00	加賀百万石 母と子の戦国サバイバル	21 人
4	11月26日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 戦国編 羽柴秀吉 謎の敵前退却 ～賤ヶ岳の合戦・勝利秘策～ ②学問と情熱 第3巻 角田柳作 アメリカにおける日本学の祖	22 人
5	12月10日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 戦国編 伊達政宗、百万石の挑戦 ②学問と情熱 第4巻 緒方洪庵 雲聚する光 適々にあり	24 人
合 計			113 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料、本県が舞台の歴史ドラマなど貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見る機会が少ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

当センター視聴覚ライブラリーでは、今後もこのようなVHSテープや16ミリフィルムを大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

(12)本多の森映画会

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	11月3日(土・祝) 10:00~12:05	「三度目の殺人」(第1回上映)	34 人
2	11月3日(土・祝) 14:00~16:05	「三度目の殺人」(第2回上映)	33 人
3	2月2日(土) 14:00~16:00	「ゆらり」	65 人
合 計			132 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、殺人犯の弁護を引き受けた弁護士が、真実を知ろうとするさまを描いた作品、能登島の民宿を舞台に、「伝えられなかった想い」を抱える人々が家族の絆を取り戻す姿を描いた作品を取り上げた。

メインターゲットとした中高年世代に大変好評であり、継続して映画上映会の実施を望む声も多く聞かれた。

秋と冬のミュージアムウィーク期間中、土曜日に開催し、参加しやすい日程とした。

今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会の実施を検討したい。

(13) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月30日(月) 14:00～15:30	①「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 桃太郎/はちかつぎ姫/十二支のはなし	148 人
2	7月31日(火) 14:00～15:30	②「チップとデール」より リスの山小屋合戦/リスの住宅難/リスの食糧難 ③「コルボッコロ」 (両日とも同じ作品を上映)	188 人
合 計			336 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も参加申込は早期に定員を超えていたが、当日の猛暑の影響で、キャンセルが相次ぎ、残念であった。

臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

次年度以降も、鑑賞に適した会場の利用を継続し、多くの参加者が鑑賞しやすいように、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らしていきたい。

(14) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回40名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月 9日(木) 10:00～11:30	サンリオ映画リクエスト「ユニコ 魔法の島へ」	41 人
2	8月 9日(木) 14:00～15:30		33 人
3	8月 10日(金) 10:00～11:30	世界名作劇場[完結版]「ロミオの青い空」	38 人
4	8月 10日(金) 14:00～15:30		30 人
合 計			142 人

事業の評価(成果・課題)

夏季休業期間中の行事としてのニーズに合致したことから、児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込むことができた。

「夏休み子ども映画会」と併せ、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、次年度以降も引き続き実施して、より多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりを検討したい。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」、「講師案内」、「視聴覚教材情報」、「ふるさと情報」、「イベント情報」の提供をインターネット上でやっている。

また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び当センター主催の「ふるさとモット学び塾」講座、「いしかわビデオ作品コンクール」優秀作品の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応えるべく、充実した生涯学習情報の提供に努めている。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置し、石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース>

区 分	内 容	データベース 保有件数	平成30年度延 べアクセス件数
ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438	950
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ・CD・DVD教材	11,710	23,083
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	173	734
講座案内	県内の各種講座・講演会等	2,002	23,307
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	410	6,550
映 像	今蘇る石川の記録映画	12	288
	ふるさとモット学び塾講座	44	579
	いしかわビデオ作品コンクール優秀作品	15	424
合 計		16,804	55,915

データベース情報アクセス件数の推移

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延べアクセス件数	48,350	50,476	52,301	54,096	55,915

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材(16ミリフィルム・ビデオ等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対 象

各市町教育委員会、公民館及び団体等(ビデオ・CD・DVDは個人も対象)

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

視聴覚教材保有状況

区分	本数	平成29年度末	平成30年度		合 計
			購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム		1,556 本	本	本	1,556 本
ビデオテープ		5,928			5,928
CD		823			823
DVD		1,806	86	41	1,933

利用状況

区分	本数	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		本数	鑑賞者数								
16ミリフィルム		82	3,118	73	2,852	83	2,684	32	784	12	548
ビデオテープ		282	4,629	72	2,999	63	4,443	25	799	28	391
CD		656	1,113	900	1,895	430	817	376	750	324	466
DVD		2,985	13,311	3,233	17,362	2,954	12,406	2,505	11,870	2,582	13,036

(4) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月24日 第276号	表題 「生涯学習で心豊かな人生を」 執筆者 石川県立生涯学習センター副館長 東 克典	表題 「人もカエルも昆虫もみんなが村民、 そんな『ケロンの小さな村』」 執筆者 (農) 能登ふれあいガーデン ケロンの小さな村 上乘 秀雄・純子
11月27日 第277号	表題 「社会教育協会と『接点』」 執筆者 石川県社会教育協会会長 梅田 和秀	表題 「出会い～ご縁とご恩～」 執筆者 金城大学短期大学部副学長 岡野 絹枝

(5) 県民企画展示(マナビィコーナー)

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や、展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月1日(日)～4月29日(日) 9:00～18:00	兼六園と金沢城の植物と風景写真展	今城 哲二
2	5月1日(火)～5月27日(日) 〃	シャッターボタン写真展	金沢医科大学写真同好会 「シャッターボタン」
3	6月1日(金)～6月29日(金) 〃	船舶の模型展	角谷 精一
4	7月2日(月)～7月30日(月) 〃	諸江公民館視聴覚部フォトサークル 会員写真展	諸江公民館視聴覚部
5	8月1日(水)～8月25日(土) 〃	見定クレイフラワー教室作品展	見定クレイフラワー教室
6	9月1日(土)～9月28日(金) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
7	10月1日(月)～10月28日(日) 〃	ジオラマ展～心に残る風景～	北地 正・江守 育子 山田 外喜枝
8	11月1日(水)～11月30日(金)	第38回石川県児童・生徒俳句大会 入賞作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
9	〃	「布のおみせやさんごっこ」グッズ	ボランティアサークル 「おもちゃ箱」
10	12月1日(土)～12月25日(火) 〃	オリンピック・パラリンピック写真展	石川県立生涯学習センター 社会教育グループ
11	1月7日(月)～1月31日(木) 〃	布の絵本展	ボランティアサークル 「おもちゃ箱」
12	2月2日(土)～2月27日(水) 〃	雄歩と仲間達の「墨・彩」展	泊 雄平(雄歩)
13	3月2日(土)～3月30日(土) 〃	陶心会作品展	陶心会

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、写真、模型、クレイアート、刺繍、ジオラマ、俳句、布絵本、水墨画、陶芸などの展示を紹介できた。どの展示も作者の思いが込められた作品ばかりで、学習意欲の高さを伺い知ることができ、来館者増や生涯学習の啓発にも繋がった。今後も、県民の方々が、生涯学習活動の成果を発表し交流する場として、工夫やPRに努めていきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月7日(木) 10:00~12:00	県推進事業の概要説明	石川県教育委員会 生涯学習課 課参事(GL) 中尾 知巳	28人
		「金沢駅と共に」実践発表	金沢市 此花町公民館 館長 安藤 昭芳	28人
		「公民館のハブ機能」実践発表	金沢市 湯涌公民館 館長 新井 一浩	28人
		「地域の輪・人の和が支える公民館活動」実践発表	金沢市 森本公民館 館長 早川 弘志	28人
	13:00~13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	28人
14:00~16:00	生涯学習・社会教育の意義と役割	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	28人	
2	6月15日(水) 10:05~11:20	国の第3期教育振興基本計画と社会教育関係職員	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	16人
	11:20~16:00	生涯学び、活躍できる環境をどう整備していくか(ワークショップ)	和歌山大学クロスカル教育機構生涯学習部門 教授 村田 和子	
3	6月26日(火) 10:00~12:00	コーディネート力向上! (ワークショップ)	金城大学 社会福祉学部 非常勤講師 今井 和愛	24人
	13:00~14:30	人権講演会「夢と絆」	新潟産業大学 経済学部 准教授 蓮池 薫	24人
	14:40~16:10	社会教育主事による各公民館の現状と課題(情報交換)	生涯学習センター 担当課長 松浦 直裕	24人
4	7月6日(金) 10:00~12:00	文章力向上!	杉原企画 代表 杉原 美佐子	18人
	13:00~14:20	プロカメラマンから学ぶ惹き付ける 広報写真撮影のコツ	NPO法人百万石ワールドカフェ フリーカメラマン 迎 崇	18人
	14:40~16:00	広報にも、人付き合いにも、必ず役立つ 語彙力アップのススメ	NPO法人百万石ワールドカフェ フリーライター 小杉 智美	18人
5	7月19日(木) 10:00~12:00	先進的な公民館の実践事例紹介	富山大学地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	26人
	13:00~16:00	地域の未来を描いてみよう (ワークショップ)		
合 計				336人

(注) ・6月7日・6月26日・7月19日は必修講座

・6月7日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催。(参加人数は上記以外に担当者基礎研修12人)

・6月15日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。

(参加人数は上記以外に専門研修 9人、市町等担当者研修13人) ※会場:石川県行政庁舎1102会議室

・6月26日の「人権講演会」は、一般公開。(参加人数は上記以外に一般120人)

事業の評価(成果・課題)

今年度は、年度当初に履修要件の確認を行い、受講者に全講座の参加を呼びかけ欠席連絡の徹底に努めた。今年度の修了者数は、館長13名、主事等9名。

来年度は、より講座内容を吟味し、館長・主事等に求められる基礎知識・技能並びに最近の情報及び各公民館の取組についての講義を予定している。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月1日(金) 10:00~12:00	「公民館と生涯学習・社会の推進について」	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	19人
	13:00~16:00	「住民参加とファシリテーション」	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八	
2	6月15日(金) 10:05~12:20	「国の第3期教育振興基本計画と社会教育関係職員」	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	9人
	11:20~16:00	「生涯学び、活躍できる環境をどう整備していくか」(ワークショップ)	和歌山大学 クロスカル教育機構 生涯学習部門 教授 村田 和子	
3	7月12日(木) 10:00~12:00	「生涯学び、人づくり、地域づくりに貢献でき、期待される公民館の取り組み事例について」	富山大学地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	18人
	13:00~16:00	「生涯学び、人づくり、社会教育の発展に貢献するネットワークづくり」		
合 計				46人

(注) ・6月1日、7月12日は必修講座

・6月15日は基礎研修及び専門研修並びに生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。
(参加人数は上記以外に基礎研修18人、生涯学習・社会教育担当者等研修13人)

※会場:石川県行政庁舎1102会議室

事業の評価(成果・課題)

県内5市町から20人が受講し、今年度2年目に当たる館長8名、主事4名が修了した。受講者アンケートでは、他の公民館との情報交換ができてよかったとの声があり、今年度は公民館の取り組み事例を取り入れるとともに、社会教育の発展に貢献するネットワークづくりについて時間を設定した。平成25年度から2年間での受講課程に変更したが、参加市町が減少し受講者は20名程度にとどまっている。基礎研修修了者が毎年20~30名程度いることから、来年度も引き続き修了者への受講啓蒙及び過去の専門研修修了者に対して新しい情報を提供する場として、オブザーバー参加を認めることとした。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

県・市町職員、公民館職員、NPO職員
【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、まなびすとルーム

日 程

【入門編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	7月12日(木) 10:00~16:00	入門講座①	NPO法人NPO政策研究所 理事 谷内 博史	30人
2	7月13日(金) 10:00~14:50	〃 ②	〃	27人
3	7月14日(土) 10:00~14:20	〃 ③	NPO法人百万石ワールドカフェ 理事 西田 禎	26人
4	7月14日(土) 14:30~16:00	〃 ④	野々市市レクリエーション協会 会長 梶 紀子	26人
合 計				109人

【応用編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月6日(木) 10:00~16:00	応用講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	13人
2	9月7日(金) 10:00~16:00	〃 ②	〃	13人
3	9月19日(水) 13:30~16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	12人
4	9月20日(木) ~11月16日(金)	実地体験(各自)		12人
5	11月22日(木) 13:00~16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	12人
合 計				62人

事業の評価(成果・課題)

昨年度から、入門編の内容を見直し、谷内博史氏、西田禎氏、梶紀子氏を招いた。受講生には大変好評であった。応用編は引き続き講師に富永良史氏を招いて実施し幅広く学べる内容とすることができた。「色々な講師の方の講座で良かったと思います。」などの感想が寄せられ入門編と応用編の内容を変更したことは好評だった。昨年に続き応用編の受講者が少ないので対策を検討する必要がある。入門編から応用編へ続けて受講する人を確保していきたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対象・定員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者・30名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月7日(木)	県推進事業の概要説明	石川県教育委員会生涯学習課 課参事(GL) 中尾 知巳	12人
	10:00~12:00	「金沢駅と共に」実践発表	金沢市 此花町公民館 館長 安藤 昭芳	12人
		「公民館のハブ機能」実践発表	金沢市 湯涌公民館 館長 新井 一浩	
		「地域の輪・人の和が支える公民館活動」実践発表	金沢市 森本公民館 館長 早川 弘志	
	13:00~13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	12人
14:00~16:00	生涯学習・社会教育の意義と役割	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	12人	
2	6月8日(金) 10:00~12:00	地域の活力創造と住民の意識	金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八	13人
	13:00~16:00	生涯学習社会の必要性和市町担当者の役割	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	13人
合 計				74人

(注)・6月7日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 33人)

事業の評価(成果・課題)

今年度の申込者は、13名。

1日目は、公民館職員基礎研修と合同で生涯学習・社会教育の概要を学ぶ講座を実施。受講者からは、参考になったとの意見が多かった。

2日目は、午前、地域の活力創造と住民の意識と題して、また午後からは、生涯学習社会の必要性和市町担当職員の役割についての講義を受け、他市町の新任の職員との意見交換を実施した。受講者からは、他市町の方と交流ができ、実践に役立つ内容であったと好評だった。

来年度も、1日目は公民館職員基礎研修と合同で実施するため、生涯学習・社会教育の意義と役割並びに公民館に関する現状と現場からの実践発表を取り入れることとした。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材として16ミリフィルムの活用を図るとともに、フィルム保全のため正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	11月8日(木)	9:00~12:00	1人
2	3月7日(木)	9:00~12:00	1人
合 計			2人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて実施し、映写技術の継承を図っている。16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェア in 本多の森 2018

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会（*）

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示 ・ 実 演	県民大学校実施機関等の紹介コーナー (石川県立白山青年の家、石川県立白山ろく少年自然の家、石川県立鹿島少年自然の家、石川県立能登少年自然の家、石川県立自然史資料館、石川県立図書館、「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会、石川県民大学校事務局)	10月26日(土) ～11月3日(土) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	4,810 人
	石川県民大学校ポスター展	10月26日(土) ～11月3日(土) 9:00～18:00	中2階通路	一 般 な し	532 人
	第37回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展 (石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会) 布の「おみせやさんごっこ」グッズ展 (ボラティアサークルおもちゃ箱)	11月1日(木) ～11月3日(土) 9:00～18:00	まなびすとルーム (マナビコーナー)	一 般 な し	35 人
	似顔絵コーナー (石川県立工業高等学校)	11月3日(土) 15:00～16:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 40名	26 人
	ハンドベル演奏 (北陸学院中学校)	11月3日(土) 13:10～13:25	第1会議室	一 般 な し	186 人
い し か わ 県 民 大 学 校 講 座	ふるさとふれあい講座⑧ 「加賀守護富樫氏の成立と展開」 講師:東四柳史明(金沢学院大学名誉教授)	11月2日(金) 13:30～15:00	第1会議室	一 般 130名	175 人
	ファミリーカレッジin本多の森④ 「親子で踊れば金メダル」 講師:ラッキィ池田	11月3日(金) 13:30～15:00	第1会議室	小学生 保護者 100組	186 人
	本多の森シネマアーカイブ④ 「加賀百万石 母と子の戦国サバイバル」	11月2日(金) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 60名	21 人
	* 緑陰講座 in 本多の森⑨ 「美しく歳を重ねる」 講師:植茶 泰男	11月2日(金) 13:30～14:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 30名	22 人
	* 緑陰講座 in 本多の森⑩ 「着物の知識とマナーのおさらい」 講師:上野 さなみ	11月2日(金) 14:40～15:40	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 30名	22 人
ビ デ 映 画 上 映 会 ・ 映 会	本多の森映画会① 「三度目の殺人」	11月3日(土) 10:00～12:05	第3会議室	一 般 60名	34 人
	本多の森映画会② 「三度目の殺人」	11月3日(土) 14:00～16:05	第3会議室	一 般 60名	33 人
	SVCビデオ作品上映会 (生涯学習センタービデオクラブ)	11月3日(土) 10:30～12:00	教室1	一 般 20名	21 人
合 計					6,103 人

事業の評価（成果・課題）

9月中旬から行った広報活動や隣接する本多の森ホールのイベントによる相乗効果などで、期間中の入館者数は6,103人となり、平成29年度（プレイベントを含む）の5,960人とほぼ同数であり、館内には活気が溢れた。「県民大学校実施機関等の紹介コーナー」の内容を再検討するなど、事業内容を工夫して今後も取り組みを継続し、県民の理解を得られるようにしたい。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

県内の生涯学習・社会教育・学校教育等の関係者が集い「インターネット利用の現状と未来」をテーマに、近年のネット社会の課題と将来に向けた展望を共有することで、『第2期石川県の教育振興基本計画』が目指す、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、県立高等学校教員、PTA関係者等

会 場

石川県庁行政庁舎11階 1105会議室

参加人数

71人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月28日(月) 13:30~13:35	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課長 篠原 恵美子
13:35~14:15	講義 「ICT活用に関する 国の政策動向」	総務省北陸総合通信局情報通信部電気通信事業課 課長補佐兼サイバーセキュリティ室主査 大江 武
14:20~15:20	事例発表	①KDDI(株)北陸総支社管理部 細川 一人 「ネット社会におけるマナーと5Gの未来について」 ②石川県立鹿西高等学校PTA会長 関軒 明宏 「鹿西高校TMR作戦について」 ③ヤフー株式会社 (金沢工業大学KIESプロジェクト元リーダー) 高倉 正道 「若者の視点で考えるネットの未来について」
15:20~16:20	ディスカッション	コーディネーター 金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

講義では、生産年齢人口が減少していく中で、ICTの活用によって年齢、障害の有無、性別、国籍等に関わらず、誰もが豊かな人生を享受できる共生社会を実現することの必要性について、また、そのための総務省の周知啓発の取組について学習した。

事例発表では、細川氏から、新たな通信規格である5Gの採用によって通信速度・通信容量が大規模化することで、遠隔による重機操作が可能になる、自動運転が普及するといった社会の変容について発表があった。関軒氏からは、「時間を守り(Time)マナーを守り(Manners)リスクを知る(Risk)こと」をテーマに学校と家庭が連携して取り組んだ「TMR大作戦」によって、生徒がスマートフォンを利用する際の自己抑制力が高まったという報告があった。また、高倉氏から、大学とヤフー(株)での経験から、将来、テクノロジーはもっと身近なものとなり、社会はより便利なものになっていくという話があった。

フォーラム全体を通して、インターネットをはじめとする情報通信技術はあくまで手段にすぎないこと、これを有効に活用していくためには私たちのリテラシーを高めていくことが重要であるということ学んだ。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

生涯学習および社会教育において、地域は学びあいの場であるとともに、学びを通じた実践や課題解決の場となっている。地域に根ざした学びは、個人の人生を豊かにするのみならず、地域に活力をもたらす。

本研修は「地域を担う人材育成」をテーマに、学びを地域の活性化につなげている先進事例を学ぶとともに、人材育成の具体的な手法について考えることを通じて、豊かな地域づくりを目指し、生涯学習・社会教育職員として求められる資質を高める。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員、各市町の社会教育委員

会 場

石川県行政庁舎 1102会議室

参加者数

40人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員13人、公民館職員基礎研修18人、専門研修9名

期 日

平成30年6月15日(金) 10:00～16:10

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課長 篠原 恵美子
10:05～11:20	講義「国の第3期教育振興基本計画と社会教育関係職員」	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重
11:20～12:20	講演「生涯学び、活躍できる環境をどう整備していくのか」	和歌山大学クロスカル教育機構 生涯学習部門 教授 村田 和子
13:30～16:00	ワークショップ「生涯学び、活躍できる環境をどう整備していくのか」	和歌山大学クロスカル教育機構 生涯学習部門 教授 村田 和子
16:00～16:10	全体講評および閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

講義では、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授が、「国の第3期教育振興基本計画と社会教育関係職員」と題して、国の最新情報を織り込んで要点を講義された。

引き続き行われた基調講演は、和歌山大学クロスカル教育機構生涯学習部門村田和子教授が、「生涯学び、活躍できる環境」をどう整備していくのかをテーマとして、必要な環境づくりが肝要と強調された。また、そのテーマについて体験型学習 ワークショップを休憩をはさんで講義された。また一人の老人の死についても考えさせられる内容も盛り込まれた。

ワークショップでは、8グループに分かれ「生涯学び、活躍できる環境をどう整備していくのか」というテーマで意見を出し合い考え、具体的な手法を学んだ。参加者の積極的な意見交換が見られた。

参加者を対象にしたアンケートでは、すべての研修について、90%以上が「非常に」・「ある程度有意義」であったと回答した。研修の趣旨がある程度、達成されたと考える。参加者からの要望には「今後も他の公民館との交流の場がほしい。」との声があり、今後も引き続き地域の生涯学習・社会教育の担い手の環境づくりが求められる。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

地域における社会教育・生涯学習の振興において、中核的な役割を果たす社会教育主事等社会教育職員の専門的な知識、技術、実践力の向上を図るとともに、公民館等の地域コミュニティが果たす役割について理解を深める。※本年度は「日本公民館学会研究大会」に加わる形で実施。

主催 / 共催 / 後援 金沢大学社会教育研究振興会 石川県教育委員会 金沢大学地域連携推進センター

対象・定員

次のいずれかに該当するもの（30名程度）

- ①金沢大学社会教育主事講習修了者 ②社会教育主事 ③市町生涯学習・社会教育行政担当者
④生涯学習・社会教育施設勤務者（公民館主事、博物館学芸員、青少年教育施設職員等）

会場/参加人数 金沢市西町教育研修館 フォローアップ® 研修15人、公民館学会45名 計60名

日 程

日 時	内 容	講 師 等
12月15日（土）		
13:15～13:20	開会挨拶・趣旨説明「地域コミュニティの拠点としての公民館等のコミュニティ施設」	金沢大学地域連携推進センター 浅野秀重氏
13:20～14:20	講義「地域コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり」	山形県東根市公益文化施設 まなびあてらす 総括マネジメント業務責任者 学芸員 松葉里江子氏
14:30～15:40	実践報告①「片口コミュニティセンターにおける活動と課題」	富山県射水市片口コミュニティセンター 職員 曾根直子氏
	実践報告②新壱町公民館の地域に根ざした活動 -これまでとこれから-	石川県金沢市新壱町公民館 館長 稲荷明彦氏
	実践報告③坂井市におけるまちづくりの推進とコミュニティセンター	福井県坂井市総合政策部まちづくり推進課 職員 福澤斗夢氏
17:00～18:00	研修実践交流	コーディネーター 金沢大学 特任助教 河内真美氏
12月16日（日）		
9:30～12:00 自由研究発表	公民館主事の専門性を培う-わたしの経験から 植原孝行（群馬大） タイの農村部における学習センターの実践と職員の役割についての研究 ペンタム・ピヤワン（筑波大学大学院） 戦後農村における公民館と農業普及改良事業との協働 安藤耕己（山形大学） 山村における地域伝統色の生産・販売が育む暮らしと学び 松本大（弘前大学）	
13:00～15:50 課題研究 「公民館職員の養成・採用・研修」	司会：木下巨一（長野県教委） コメンテーター：内田光俊氏（岡山県教委） 報告① 佐賀県における伽会教育職員・公民館職員研修 -どのように取り生まれ、何が学ばれているのか 上野景三氏（佐賀大学）、田中真由美氏（勸興公民館） 報告② 宮城県における社会教育職員研修 石井山竜平氏（東北大学）、 蛭名博人氏、菅原綾氏（宮城県教育庁生涯学習課）	

事業の評価(成果・課題)

講義では、山形県東根市公益文化施設「まなびあテラス」の取り組みについて説明があり、地域コミュニティ「市民が自由になるための場所」をコンセプトに、図書館、美術館、市民活動支援センターからなる複合施設として2016年に誕生し、人々が集い学び交流する創造性あふれる空間として、幅広い世代が利用できるよう運営しているとのこと。石川県内においても、公民館からコミュニティセンターへの移行が進められている市町があるので、とても参考になった。実践報告は、北陸三県から行われ、それぞれの活動発表と課題についても率直にお話しいただき、大変役立つ内容であった。研修実践交流の時間が少々短く踏み込んだ情報交換に発展できなかった。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会、各市町教育委員会

後 援

金沢大学地域連携推進センター

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教育事務所	参加人数	日 時	内 容 等
金 沢	12 人	4管内の 合同開催 11月16日(金) 13:30~16:00	テレビ会議シンポジウム テーマ「魅力ある地域資源を活かしたまちづくり」 趣 旨 超高齢社会において、「全員参加による課題解決社会」を実現するためには、地域住民全員が地域の素晴らしさを再認識し、魅力的な地域づくりを推進していくことが求められている。県内外の先進的な取組事例の発表をもとに、魅力ある地域資源を活かした持続可能なまちづくりのための手がかりを得ることを目的とする。また、金沢大学が有する遠隔地配信システムを利用した珠洲、七尾、金沢、小松をつないだ交流形式の会議とし、遠隔地交流における I C T 機器活用の一助とする。 会 場 ・金沢会場（金沢教育事務所管内） 金沢大学地域連携推進センター 2階講義室 ・珠洲会場 金沢大学珠洲サテライト（奥能登教育事務所管内） すず市民交流センター 3階第5会議室 ・七尾会場（中能登教育事務所管内） 七尾高等学校 1階小会議室 ・小松会場 金沢大学小松サテライト（小松教育事務所管内） こまつアズスクエア1階 カブッキーランド カルチャールーム 基調講演 （13：35～14：25） 演題「高齢者の生きがいを求めて～地域資源を活かしたまちづくり～」 講師 新潟県小千谷市（株）Mt.ファームわかとち 代表 細金 剛 事例発表 （14：35～15：15） ① 珠洲市宝立公民館 館長 民山 猛 「空海伝説の里・宝立 ～地域伝承を活かしたまちづくり～」 ② 加賀市塩屋公民館 館長 西野 和人 「地域で支える救命活動を目指して ～人材を活かしたまちづくり～」 まとめ及び意見交換 （15：15～15：50） 演題「『あるもの』を活かした地域づくり」 講師 金沢大学地域連携推進センター 准教授 蜂屋 大八 閉会挨拶 （15：50～16：00） 金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重
奥能登	29 人		
中能登	8 人		
小 松	8 人		
合 計	57 人		

事業の評価(成果・課題)

テレビ会議システムを利用した合同開催も3年目となったが、アンケートでは移動時間や交通費のコストが削減されるメリットは大きい等、研修形態についての評価は高く、また、文科省の報告書にも掲載された新潟県小千谷市の取組については、発表者への質問も多く、各団体の地域活性化への大きな参考となったと思われる。さらに、新たに七尾会場を設けたことで、中能登管内の参加者数は増加した。しかしながら、全体的には参加者数は減少傾向にあること、依然として音声や映像についての不満、改善要求が多いこと、今後は各管内で実施したいとの希望も半数近くあることから、来年度はテレビ会議システムを利用した合同研修ではなく、従来の各管内ごとの研修会に戻すことで準備を進めることとする。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月15日(金) 15:00～16:30	「映像のコンセプトを的確に伝えるための編集方法と情報発信力を高めるためのWebサイトのレイアウト」	金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科 教授 松下 裕	23 人

事業の評価(成果・課題)

面白い映像コンテンツのシーン構成について、映像の心理学やデータ解析の知識を用いた解説や、ウェブサイトで情報発信を効果的にするためのデザインの考察から、映像やホームページの制作などについて科学的な観点から学ぶことができた。

技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般県民 ・A日程 12名 ・B日程 12名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
A	6月23日(土)・30日(土)・7月 7日(土)・14日(土)・21日(土) 13:30～16:00 (7/14のみ 10:00～12:00)	ビデオ撮影・編集に関する 講義、ビデオ編集実習	生涯学習センタービデオ クラブ(SVC)会員	44 人
B	9月22日(土)・29日(土)・10月 6日(土)・13日(土)・20日(土) 13:30～16:00 (10/13のみ 10:00～12:00)	〃	〃	26 人
合 計				70 人

事業の評価(成果・課題)

前年度同様多くの県民に受講の機会があるように、1期、2期とも同じ内容で実施した。
今後も、幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫し、映像制作文化の発展に寄与したい。

(7)ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを旨とする。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

第1回： 公民館・図書館職員等 9名

第2回： 公民館・図書館職員、小・中・高等学校教員、一般県民 20名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	11月13日(火) 9:30～16:30	学び直してスキルアップ！Microsoft Word 2013 使いこなし講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	7 人
2	3月1日(金) 15:00～16:30	講演 「ビギナーから一歩踏み出す映像制作 ～後世に残す映像づくり～」	金沢学院大学芸術学部 芸術学科 准教授 越田 久文	20 人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、オフィスソフトの活用講座を実施した。現在、多くの生涯学習施設で使われていると思われるMicrosoft Officeについて、そのワープロソフトであるWord2013を用い、インストラクターによる指導での「学び直し」を行うことにより、自己流では習得の難しい正しく効率的な使用方法や有用な機能を学び、広報等の文書作成能力の向上を目指すことを目的とし、県内各地の公民館職員等を対象として講習会を行なった。

参加者からは、改めて基礎から学ぶことにより、自己流ではわからなかった使い方を知ることができた、などと好評であった。今後もワープロソフトに限らず、実践に役立つ内容で、ICTの基本的な技術と知識の習得を図りたい。

第2回は、いしかわビデオ作品コンクールの記念講演という位置付けを止め、前年度より開催時間を30分延長して内容をより充実した。講師はCMや番組制作プロデューサーとして長年勤務した後、大学で映像制作等の授業を担当しており、地域映像の制作等に大変参考になった。

(8) 平成30年度(第49回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、
石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成30年10月1日(月)～平成31年1月31日(木)

応募規定及び表彰

応募規定 ①教材部門 ・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・学校紹介ビデオ

②一般部門 ・①以外のビデオ作品

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会会長賞もしくは石川県公民館連合会長賞を授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成31年2月14日(木) 13:30～17:25

表彰式 平成31年3月2日(土) 15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫(金沢学院大学教授)＜審査委員長＞

岡野 重和(生涯学習センタービデオクラブ幹事)

中西恵里子(石川県教育委員会生涯学習課)

平 聖一郎(石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門・・・9点 ②一般部門・・・6点 計15点

審査結果及び表彰者氏名

①教材部門	②一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 能登高校の魅力発見 石川県立能登高等学校	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 涅槃会 だんご作り 小屋 忠男
優秀賞 及び 石川県社会教育協会会長賞 大聖寺高校学校紹介 2018 ver.2 石川県立大聖寺高等学校放送部	優秀賞 及び 石川県公民館連合会長賞 ～その刻～忘れないために 山本 尚武
奨励賞 旧金沢市上平小学校閉校物語 ～20年後のタイムカプセル開き～ 藤平田 友市 熱中症は危険！！2018 金沢市立工業高等学校2年学年団 鶴高 PV 2018 石川県立鶴来高等学校	奨励賞 アンコール遺跡を訪ねて 西上 章 5M×7Mの青春 石川県立能登高等学校

事業の評価(成果・課題)

平成30年度は、10月1日から翌年1月31日までの募集期間とし、上記点数の応募があった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

なお、平成27年度以降、受賞作品のうち、作者の了解が得られた作品について、広く県民に見ていただけるよう、「あいあいネット」上で一般公開をしている。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第15号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月25日(月) 第15号	「映像のコンセプトを的確に伝えるための編集方法と情報発信力を高めるためのWebサイトのレイアウト」	金沢工業大学情報フロンティア学部 メディア情報学科 教授 松下 裕

(10) 自主サークル

サークル名	活 動 内 容
生涯学習センタービデオクラブ (SVC)	毎月第2土曜日(13:30~16:00)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) ふるさとふれあい能登校講座

趣 旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について学び、郷土に対する理解を深め、誇りと愛着をもつ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月30日(水) 13:30~15:30	「能登に顕著な音の民俗」	加能民俗の会会長 小林 忠雄	23人
2	6月14日(木) 13:30~15:30	「次世代の能登を担う人材育成について」	金沢大学地域連携推進センター・特任教授 宇野 文夫	11人
3	7月17日(火) 13:30~15:30	「戦国時代の能登」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	42人
4	8月28日(火) 13:30~15:30	「二百年前能登を一巡した老藩士」	石川県観光スペシャルガイド 藤平 朝雄	31人
5	9月11日(火) 13:30~15:30	「草木染の文化史『第三章 茶・黒を染める』」	日本織物文化学会会員 登美 聡	12人
6	10月23日(火) 13:30~15:30	「白山の自然・歴史と楽しみ方」	石川県白山自然保護センター主任研究員 小川 弘司	9人
7	11月13日(火) 13:30~15:30	「江戸時代 能登の村々となりわい」	石川県歴史博物館職員 濱岡 伸也	33人
合 計				161人

事業の評価(成果・課題)

能登の歴史に興味・関心がある受講生が多く、大変好評であった。参加者増にもつながり、引き続き歴史を受講したいとの声が多かったので、次年度も歴史を中心に講演を計画したい。

(2) 能登文化講座

趣 旨

能登の地域住民が、著名な講師による専門性の高い講話を通し、より広い人生体験や歴史・文化にふれることにより、豊かな生活を営むとともに、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月7日(土) 13:30~15:00	「西郷隆盛 波乱の生涯」	志學館大学教授 原口 泉	205人

事業の評価(成果・課題)

原口泉氏は、今年度放映されたNHK大河ドラマの時代考証を務めておられることもあって、事前の反響が大きかった。昨年度はなかった問い合わせも多くあり、事前申込みも多かった。講演当日も参加者が、200名を越え盛況で大変好評であった。芸能人や有名人などの要望もあるが、受講者の心に残る内容や学習意欲を高める講座内容もニーズが高いということが改めて分かった。

(3) 能登の歴史探訪講座

趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深める。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	10月3日(水) 13:30～15:30	「能登立国の背景をめぐって」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	40人
2	10月10日(水) 13:30～15:30	「上杉謙信の能登侵攻と七尾落城」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	45人
3	10月17日(水) 13:30～15:30	「能登天領の成立と領内の村々」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	41人
合 計				126人

事業の評価(成果・課題)

受講生からの講演要望が強い講師を招いての講座であったので、加賀地区からの受講もあり盛況であった。講座内容を奥能登地区を中心にしたことにより、身近な地域の歴史に対する興味・関心が高まり、今後の学習意欲にもつながったようだ。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	9月6日(木) 13:30～15:30	「古文書の解読」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	29人
2	9月13日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会会員 左古 隆	31人
3	9月20日(木) 13:30～15:30	〃	金沢市立玉川図書館文化政策調査員 池田 仁子	30人
4	9月27日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	32人
合 計				122人

事業の評価(成果・課題)

今年度も、大変熱心で知識も豊富な受講生が多かった。講師の方々には細やかな準備をしてくださり、学習の場としてふさわしい雰囲気の中で実施された。質問内容もレベルが高く、単なる解読に留まらず、その時代の歴史考証をも含めた中身の濃い講座になった。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月5日(火) 13:30~16:30	成形	珠洲焼作家・県伝統工芸士 坂本 一郎	12人
2	6月6日(水) 13:30~16:30	〃	〃	12人
3	6月19日(火) 13:30~16:30	素焼	〃	12人
4	6月26日(火) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	12人
5	7月3日(火) 13:30~16:30	鑑賞会・講評	〃	12人
合 計				60人

事業の評価(成果・課題)

継続受講している方が多く、技術・創作意欲とも高い。新たな創作を試みるなど、自主的に向上する計画を立てて臨んでいた。受講者同士の学び合いも技術レベルの向上につながっているようだ。

(6) あすなろ悠々塾in能登

趣 旨

生涯学習活動等をとおして得られた研究成果を生かして、講師自らが企画・運営する。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月12日(火) 13:30~15:00	「未来に伝えたい あえのことの心」	高名 由美子	18人
2	6月27日(水) 13:30~15:00	「殿様はつらいよ 御家騒動物語」	中田 廉子	12人
3	7月19日(木) 13:30~15:00	「趣味の骨董 茶の源流 千家十職」	杉森 学	12人
4	7月31日(火) 13:30~15:00	「健康寿命を延ばそう ～生命と健康の法則～」	木下 幸子	7人
合 計				49人

事業の評価(成果・課題)

引き続きの講師の場合、内容が違っても演題がほとんど同じということもあり、受講者数の減少につながった。マンネリ化を防ぐためにも、できるかぎり地元の新しい講師を見つける努力が必要である。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

名作映画の鑑賞をとおして、歴史・文化・精神などに親しむ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月28日(木) 13:30～15:30	「カサブランカ」	33人
2	7月24日(火) 13:30～15:30	「父の詫び状」	42人
3	9月4日(火) 13:30～15:30	「深夜食堂」	中止
4	10月30日(火) 13:30～15:30	「風と共に去りぬ (前編)」	29人
5	11月6日(火) 13:30～15:30	「風と共に去りぬ (後編)」	25人
合 計			129人

事業の評価(成果・課題)

受講者の年代に合った作品であったことや、老友会からの組織的な参加があり、受講生が増えた。しかし、あいあいネットから借りられる映画のレポーターが少なく、受講生に満足してもらえるような作品を選ぶことが難しい。今年度中にアンケートを実施し、少しでも受講生の要望に沿った作品を上映したい。

(8) ふるさと文化探究講座

趣 旨

DVD映像をとおして、ふるさと石川の歴史・文化・自然・偉人等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月1日(金) 13:30～15:30	①加賀の三貞 有沢一家 ②思い出菓子～遊び心 親心～/駄菓子 ③金沢建築巡り～谷口吉郎～	20人
2	7月9日(月) 13:30～15:30	①平時忠～能登に流された平家の実力者～ ②受け継がれる味～能登に伝わる古代食～ ③加賀のからくり師～大野弁吉～	16人
3	8月17日(金) 13:30～15:30	①前田慶次 ～天下御免の傾奇者～ ②健康食 ～今も残る風習・文化～ ③近代医療の父～黒川良安～	13人
4	9月25日(火) 13:30～15:30	①丹羽長重～北陸で波乱の人生を生きた武将～ ②天然の旨み ～奥能登・塩街道～ ③白山ふるさと愛～深田久弥の精神～	17人
5	10月25日(木) 13:30～15:30	①富樫高家～中世加賀を作った富樫家とその一族 ②旬を味わう～金沢・冬の名物料理～ ③万葉の旅～折口信夫が見た能登半島～	7人
6	11月20日(火) 13:30～15:30	①島山満慶～七尾に息づく島山文化～ ②近代納豆の父三浦二郎～ ③ユーモアの先駆者～奥野他見男～	12人
合 計			85人

事業の評価(成果・課題)

郷土の歴史に興味を持つ方が多いので、必ず1本は歴史作品を入れながら、文化や産業の発展に貢献した先人の物語を加えた。一方で石川ならではの食文化にも満足いただいたようだ。今後も興味のある作品を入れながら、新たな作品へ導きたいと考えている。

(9) 輪島塗沈金教室

趣 旨

輪島塗の代表的な加飾方法である沈金の技法を体験し、各自が考案した図案をもとに沈金パネルを完成する。

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月 5日(木) 13:30~16:30	各自が考案した図案をもとに、練習用の輪島塗パネルで、沈金専用のノミを使って彫りの練習をする。	輪島塗沈金作家 前古 孝人	16人
2	7月12日(木) 13:30~16:30	パネルに下絵を写し、下絵にそってノミで彫る。彫りが終了後、彫った部分に漆をぬり金粉を入れ完成する。	〃	16人
合 計				32人

事業の評価(成果・課題)

初めのうちは沈金ノミの使い方に苦慮していたが、練習により徐々に慣れ楽しそうに活動を行っていた。金粉を入れると、想像以上にきれいに出来上がり、どの受講者もとても満足げな表情をしていた。また、別売の額に入れると一層作品が引き立ち、次年度も受講したいとの声が多くあった。

(10) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、自然界の隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	8月22日(水) 13:30~15:30	身近な科学実験と工作① ・ふわふわ飛行機を楽しもう	元能登分室職員 坂尻 忠秀	10人
2	8月29日(水) 13:30~15:30	身近な科学実験と工作② ・植物の標本をつくろう	〃	11人
合 計				21人

事業の評価(成果・課題)

身の周りにある道具や素材により、理解困難なことを身近に感じる体験ができた講座になった。とかく理科は難しく、興味や好奇心が持てず、離れる児童生徒が多いことを講師が感じているようだ。講師ならではの工夫にあふれた講座であった。子どもたちは、おもしろい理科の学習にチャレンジし続けてほしい。

(11) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向け名作アニメの上映を通して、子どもたちの豊かな情操を育む。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月22日(日) 10:00~12:00	「世界名作アニメ 白雪姫」	35人
2	7月29日(日) 10:00~12:00	「ミッキーマウス3 『ミッキーの夢物語』など8編」	29人
3	8月19日(日) 10:00~12:00	「ドラミちゃん ミニドラSOS!!!/チンプイエリさま活動大写真」	26人
合 計			90人

事業の評価(成果・課題)

保育所・幼稚園に、専用のチラシを作り、働きかけを強化したことで、幼い子どもたちの参加者が増えた。また、両親、兄弟、祖父母などと家族ぐるみでの参加が多かった。しかし、参加者の年齢層が広がるにつれて、全体を満足させる作品選びが難しい。

(12) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を作り、釉薬をかけて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験とおして、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月21日(土) 13:30~16:30	成形・素焼き	石川県立飯田高等学校 教諭 井上 正浩	20人
2	8月11日(土) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	19人
3	8月21日(火) 13:30~16:30	鑑 賞 会	〃	11人
合 計				50人

事業の評価(成果・課題)

受付開始から短期間で定員に達してしまい、人気講座であることを示している。講師は子どもたちの創作意欲を上手に引き出し、保護者の求めにも丁寧に対応していた。幼い子供も多かったが、理解力、意欲のある子が多かった。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) フランス料理教室

趣 旨

オーナーシェフの指導によるフランス料理を実際につくり、楽しく試食します。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	6月4日(月) 10:00～13:00	家庭でできるフランス料理	ラトリエ・ドゥ・ト オーナーシェフ 池端 隼也	17人

事業の評価(成果・課題)

調理前にレシピを配付して、講師から丁寧な説明を受けたので、フランス料理は難しいのではないかと感じている方も身近な存在になったようだ。受講生からは、フランス料理が自宅で簡単にできると好評であった。

(2) 大人の料理教室

趣 旨

秋の食材を生かした手軽な料理作りを楽しみ、地域の食文化や健康食についての理解を深める講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月29日(土) 10:00～13:00	秋の味覚を楽しみましょう	地域活動栄養士 沖崎 美子	16人

事業の評価(成果・課題)

旬を迎えた秋の食材を使い、良い雰囲気の中で、班ごとに手際よく調理し、和気藹々とした昼食時間を持つことができた。しかし、野菜の高騰により、予定していた献立を一部作ることができなかった。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港のマスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを実感し、併せて空港に親しむ。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各50名

会 場

のと里山空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容 (題 材)	参加人数	備 考
1	4月8日(日)	お花見のっぴー	52 人	
2	5月13日(日)	のっぴーと鯉のぼり	80 人	
3	6月10日(日)	のっぴーと雨宿り	66 人	
4	7月8日(日)	のっぴーと天の川	458 人	作業室で実施
5	8月12日(日)	のっぴーと海水浴	164 人	
6	9月9日(日)	お月見のっぴー	98 人	
7	10月14日(日)	のっぴー空の運動会	138 人	
8	11月11日(日)	のっぴーモミジ狩り	80 人	
9	12月9日(日)	のっぴーサンタ	76 人	
10	12月23日(日)	12ヶ月自由図柄	388 人	作業室で実施
11	1月13日(日)	のっぴーのお正月	84 人	
12	2月10日(日)	のっぴーと雪だるま	84 人	
13	3月10日(日)	のっぴーひな祭り	106 人	
合 計			1,874 人	

※実施日は、毎月第2日曜日、7/8開港記念日、12/23クリスマスイベント開催日

時間帯は、10:00~12:00、13:00~15:00

事業の評価(成果・課題)

家族揃っての参加も多く、旅行者の参加もみられた。のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する行事となっている。イベント開催日以外の参加者数が減少していたが、地域の小学校への出前講義などにより新たな参加者が増えてきた。

3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	28	36	69	60	66	71	67	115	76	44	39	50	44	737	
	29	36	67	62	80	78	58	69	73	52	38	51	40	704	
	30	23	69	55	81	68	54	63	77	49	26	48	57	670	
人数	28	901	1,499	1,813	1,619	1,859	1,369	2,995	2,033	4,062	758	1,329	1,214	21,451	
	29	781	1,553	1,671	3,629	1,847	1,280	3,673	1,843	5,643	670	1,216	1,044	24,850	
	30	589	1,604	1,160	4,016	1,877	1,152	1,664	1,577	4,532	513	1,075	1,244	21,003	
1日平均	件数	28	1.2	2.2	2.0	2.1	2.3	2.2	3.7	2.5	1.6	1.4	1.8	1.4	2.0
		29	1.2	2.2	2.1	2.6	2.5	1.9	2.2	2.4	1.9	1.4	1.8	1.3	2.0
		30	0.8	2.2	1.8	2.6	2.2	1.8	2.0	2.6	1.8	0.9	1.7	1.8	1.9
	人数	28	30.0	48.4	60.4	52.2	60.0	45.6	96.6	67.8	145.1	27.1	47.5	39.2	59.6
		29	26.0	50.1	55.7	117.1	59.6	42.7	118.5	61.4	201.5	23.9	41.9	33.7	69.2
		30	19.6	51.7	38.7	129.5	60.5	38.4	53.7	52.6	161.9	18.3	38.4	40.1	58.5

- ・ 平成15年5月6日開設。
- ・ 平成30年度の利用状況(開館日数 359日)
 - ・ 利用件数 670件 対前年比 95.1% (平成29年度 704件)
 - ・ 利用人数21,003人 対前年比 84.5% (平成29年度 24,850人)

Ⅲ 調査研究レポート

4年目を終えた「ファミリー・カレッジ in 本多の森」について

1 はじめに

当センターでは、平成27年度から30～40歳代の子育て世代にターゲットを絞り、同世代が魅力を感じる講演会などを提供する「ファミリー・カレッジ in 本多の森」を新たに開設し、子どもを含む若年層の受講者数増加を図ってきた。ここでは、その内容について紹介し、成果、課題などを考察する。

2 これまでの実施講座

(1)平成27年度

回数	日時	対象・定員	内容(演題)	講師	参加人数
①	8月1日(土) 14:00～16:00	小学生と その保護者 100組	「本多の森で一日留学」 県国際交流員による母国紹介	県国際交流員5名 (イギリス、ロシア、 ブラジル、韓国、中国)	44組 114人
②	10月25日(日) 13:30～15:30	小学生と その保護者 50組	「親子で楽しくミュージカル」	加藤 敬二 (劇団四季俳優)	40組 94人
③	11月8日(日) 13:30～15:30	小学生と その保護者 50組	「親子で楽しむ将棋」	橋本 崇載 (将棋騎士8段)	52組 124人
④	3月6日(日) 13:30～15:30	小学生と その保護者 50組	「親子ワクワク・レシピを考えよう！」	コウケンテツ (料理研究家)	52組 118人

(合計 450人)

■主なアンケート結果

①について

- ・大人にとっても楽しい講座だった。
- ・流暢な日本語で楽しかった。
- ・子どもがとても楽しんでいた。

②について

- ・将来、舞台に立つことを夢見ている娘が加藤さんの話を聞き、とても喜んでいました。
- ・初めての体験ばかりでしたが、子育てに役立つことばかりでありがたかった。
- ・歌ったり、踊ったり、子どもの笑顔がたくさん見られて良かったです。

③について

- ・橋本さんのプロ棋士への道の話が興味深かった。
- ・プロ棋士の将棋のルール、コツを聞いて有意義でした。
- ・好きなことにチャレンジしていく過程がとても興味深かった。

④について

- ・コウケンテツさんの優しい話し方がとても良かった。
- ・子どもと一緒に料理を考えることが楽しく、視野も広がりました。
- ・いつもは思いつかないレシピを思いつけて、とても集中して楽しく過ごせた。

(2)平成28年度

回数	日時	対象・定員	内容(演題)	講師	参加人数
①	5月3日(火) 13:30~15:00	一般 150人	「フードアナリスト的“おいしい”の秘密」	雅珠香 (1級フードアナリスト)	95人
②	8月9日(火) 8:00~10:00	小学生とその保護者 20組	「兼六園と金沢城の秘密」を歩いてみよう！」	森永 寿久 (石川県観光スペシャルガイド)	19組 49人
③	8月21日(日) 14:00~15:30	小学生とその保護者 100組	「童謡あのね ~童謡の背景を知って歌おう~」	神崎 ゆう子 (第16代うたのおねえさん)	32組 83人
④	11月3日(木) 13:30~15:00	小学生とその保護者 100組	「青島先生といっしょに、うたって！きいて！」	青島 広志(音楽家) 小野 勉(歌手)	91組 215人
⑤	1月28日(土) 13:30~15:00	小学生とその保護者 100組	「親子でダンスふるさとジャポン ダンスは体のことば~いっぱいおしゃべりしちゃいましょう~」	ラッキィ池田 (振付師)	77組 198人

(合計 640人)

■主なアンケート結果

①について

- ・あすかりんさんのお話、とても楽しかったです。おいしそうなお料理の紹介ありがとうございます。
- ・おいしさの秘密を知ることができ、五感で食事を楽しみたいです。
- ・あすかりんさんの魅力的なキャラクターで「おいしい」について、とてもよく伝わりました。
- ・今日、聞いた知識で食事、外食がますます楽しくなると思いました。

③について

- ・ゆう子おねえさんを生で見られ、一緒に歌えて、夢のような時間でした。
- ・子ども達が真剣に聞き入る姿が印象的でした。
- ・子どもも大人も知っている曲を子どもと歌え、とても楽しい時間となりました。
- ・子どものために参加したが、自分のためにもなりました。

④について

- ・青島先生のピアノがとても上手で、私も少しでも近づけるよう頑張りたいです。
- ・親子で楽しめました。先生が子どもの心を惹きつけるのがとてもお上手でびっくりしました。
- ・ピアノも歌もお話しもとても上手で盛りだくさんで楽しかったです。
- ・お話しも面白く、久しぶりに親子で思いっきり歌いました。

⑤について

- ・池田さんのダンスの教え方が上手で楽しく、あっという間に終わってしまいました。
- ・子どもがのびのびとしていて、とても楽しそうで良かった。
- ・子どももとても楽しそうでしたし、親も思わず夢中で踊りました。
- ・とても楽しく子どもがいきいきしていたのが嬉しかったです。体を動かすイベントは良いですね。

(3)平成29年度

回数	日時	対象・定員	内容(演題)	講師	参加人数
①	5月3日(水) 13:30~15:00	一般 150人	「映画監督、しどろもどろ ～映画作りの1から10まで しゃべります～」	森 義隆 (映画監督)	151人
②	8月11日(金) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で楽しく歌おう！」	井上 あずみ (歌手)	98組 266人
③	11月3日(金) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で踊って大冒険!～わ くわくドキドキの旅に出よ う!～」	ラッキィ池田 (振付師)	88組 242人
④	2月3日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 20人	「楽しい親子の筆文字アート」	上野 さなみ	9組 20人
⑤	2月12日(月) 13:30~15:00	一般 200人	「映画と私、今だから思うこ と」	講師 高良 健吾 (俳優) 聞き手 森 義隆 (映画監督)	212人

(合計 891人)

■主なアンケート結果

①について

- ・森監督が映画を作成する上で考えていること、大事にしていることなどが聞けて面白かった。
- ・映画づくりの現場を学べる非常に良い機会となりました。今後の映画鑑賞が楽しみです。
- ・俳優だけでなく、制作に携わる方の熱意を教えてくださいました。

②について

- ・井上あずみさんのトークは面白く、金沢出身と知り、驚きました。
- ・となりのトトロを本当に歌っている人に会えて嬉しかったです。
- ・大好きな映画の生歌を聴けて泣きそうになりました。ジブリが大好きな子どもも楽しんでいました。

③について

- ・ラッキィ池田さんが和やかな雰囲気、体を思いっきり動かしている姿が見れて楽しかった。
- ・普段、笑いながら親子で体を動かすことがないので、とても良い機会となりました。
- ・子ども達は、たくさんの参加者に圧倒されながらも、とても楽しんでいました。

④について

- ・筆ペンの使い方のコツが分かり、とても勉強になりました。
- ・親子で一緒にやれたので、楽しかったです。
- ・とても楽しくあっという間でした。こんなに楽しめるのは驚きでした。

⑤について

- ・高良さんと森監督の関係性や撮影の裏話などが聞けてとても良かった。
- ・今回、初めて生涯学習センターの講座に参加しましたが、貴重な体験をありがとうございました。
- ・華やかに見える世界ですが、色々な悩みを抱えて今があることが分かりました。

(4)平成30年度

回数	日時	対象・定員	内容(演題)	講師	参加人数
①	4月28日(土) 13:30~15:00	一般 100人	「名探偵コナン(特別編) 推理マンガの描き方」	窪田 一裕 (漫画家)	185人
②	8月5日(日) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「まゆおねえさんと一緒に踊 ろう」	いとう まゆ (4代目ダンスのお ねえさん)	58組 152人
③	8月17日(金) 13:30~15:00	小学生と その保護者 30組	「本多の森で一日留学」	県国際交流員3名 (ロシア、ブラジル、 韓国)	13組 34人
④	11月3日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「親子で踊れば金メダル」	ラッキィ池田 (振付師)	69組 186人
⑤	2月2日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「エリックと歌って踊ろう!」	エリック・ジェイコブ セン (ミュージシャン)	83組 212人

(合計 769人)

■主なアンケート結果

①について

- ・窪田さんの楽しいお人柄で子どもも楽しんでいました。「名探偵コナン特別編」読みたくなりました。
- ・目の前でマンガを描く様子が見られて良かったです。
- ・窪田さんがマンガをすごく好きで楽しく描いている様子が伝わりました。
- ・クイズコーナー、質問コーナーなども子どもはとても楽しんでいました。

②について

- ・まゆお姉さんがとても素敵で感激しました。親子とも大変楽しめました。
- ・「踊るポンポコリン」は今晚、早速踊ってみます。
- ・3年生の息子がダンスにノリノリになっているのには驚きました。
- ・子どもが夢中で、親も一緒に思い切り体を動かして楽しめた。

③について

- ・世界の知らないことがたくさん理解できました。
- ・子ども達も講師の先生とすっかり馴染んで楽しそうでした。
- ・あっという間でした。もっと色々聞きたかったです。
- ・色々な国の文化に触れることができ、とても楽しかったです。

④について

- ・ラッキィ池田さんとダンスを楽しめ、親子とも大満足です。
- ・子どもは恥ずかしがりやですが、とても楽しんでいました。
- ・振付が分かるようになり、これからのTVの見方が変わりそうです。

⑤について

- ・エリックさんのハイテンションが最高でした。
- ・ゲーム感覚で学ぶことも大切だと感じました。そして、家庭でも英語を身近にしていきたいです。
- ・テレビで見ていたエリックさんに会えて、とても嬉しかった。

3 年齢別県民大学校入校者割合の変遷

(単位：%)

年 齢	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
19歳以下	0.4	2.5	0.9	13.8	16.4	14.3	18.1
20歳～29歳	0.4	0.4	0.6	1.2	1.3	2.9	1.2
30歳～39歳	2.4	1.5	0.9	4.4	4.1	5.2	4.8
40歳～49歳	5.1	4.8	2.0	8.5	9.0	7.8	8.0
50歳～59歳	6.9	7.2	4.1	6.6	6.8	6.3	6.1
60歳～69歳	28.3	26.9	24.7	21.9	21.0	19.6	16.7
70歳～79歳	21.8	22.1	29.9	20.0	20.2	19.9	21.0
80歳以上	5.0	2.9	6.3	5.2	5.7	4.8	5.0
不 明	29.7	31.7	30.6	18.4	15.5	19.2	19.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

上表のとおり年齢別県民大学校入校者割合について、「ファミリー・カレッジ in 本多の森」開始年度の27年度から、「19歳以下」～「40歳～49歳」の若年層世代の占める割合が増えており、はっきりとした効果が見られる。特に小学生を対象とした講座が多かったため、「19歳以下」では大幅に割合が増加し、それに伴い親世代も増加を示している。

4 新規受講者のリピート率の変遷

	新規受講者数	他講座受講者数	割 合
平成27年度	394人	10人	2.5%
平成28年度	532人	9人	1.7%
平成29年度	743人	27人	3.6%
平成30年度	684人	35人	5.1%
合 計	2,353人	81人	

上表は「ファミリー・カレッジ in 本多の森」で県民大学校講座を新規に受講した方が、それをきっかけに県民大学校の他講座へ受講した人数の割合を示したものであるが、リピート率は低迷している。

5 終わりに（成果と課題）

全ての世代を通じての生涯学習を推進し、若年層の学習機会を充実させるために開設された当事業は、前述のとおり一定の効果が表れている。また、アンケート結果でも「親子でとても楽しめた」、「歌って、踊って、子どもと笑顔になれた」など子育て世代の多くの方に、とても有意義で満足度の高い講座となり、その後の子育て方法や家庭生活の充実に役立つものになったと思われる。

しかしながら、県民大学校の他講座への関心は低く、リピーターの増加にはつながっていない。また、文化振興課が実施する季節に応じたミュージアムウィークの展示やイベントに合わせて実施することで、兼六園周辺文化の森の賑わいの創出に努めているが、受講生の流れを把握しきれていないのが現状である。今後、更に充実したスタンプラリーを実施するなど、各文化・学習関連施設間との連携強化により、これまで以上に若年層の受講者の増加を図っていく必要がある。

平成30年度
事業報告書

令和元年5月24日発行

編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引4丁目17番1号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用